

令和元年度

主要施策の成果に関する調書

糸島市



# 目 次

## 一 般 会 計

1 総 括 .....	1
2 歳 入 .....	4
市税の年度別推移 .....	4
市税の収納の状況 .....	5
市税の収入額の推移(現年課税分) .....	6
固定資産評価状況 .....	7
歳入科目別・年度別決算の推移 .....	10
地方譲与税 .....	10
利子割交付金 .....	10
配当割交付金 .....	10
株式等譲渡所得割交付金 .....	10
地方消費税交付金 .....	10
ゴルフ場利用税交付金 .....	11
自動車取得税交付金 .....	11
地方特例交付金 .....	11
地方交付税 .....	11
交通安全対策特別交付金 .....	12
分担金及び負担金 .....	12
使用料及び手数料 .....	12
国庫支出金 .....	12
県支出金 .....	13
財産収入 .....	13
寄附金 .....	13
繰入金 .....	13
繰越金 .....	14
諸収入 .....	14
市債 .....	15
事業別地方債の借入状況 .....	16
地方債現在高の状況 .....	18
借入先別地方債現在高の状況 .....	19

基金の状況(一般会計)	20
地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途状況	21
入湯税の使途状況	21
<b>3 歳 出</b>	<b>22</b>
主な事業	
総務部	
総務課	22
管財契約課	23
危機管理課	24
企画部	
経営戦略課	26
地域振興課	28
秘書広報課	32
ブランド・学研都市推進課	33
市民部	
市民課	36
収税課	37
生活環境課	38
人権福祉部	
福祉支援課	39
子ども課	41
人権・男女共同参画推進課	44
健康増進部	
健康づくり課	45
介護・高齢者支援課	47
産業振興部	
農業振興課	49
農林水産課	54
商工観光課	62
建設都市部	
建設課	65
都市計画課	69
施設管理課	72
消防本部	
警防課	73

教育部	
教育総務課	75
生涯学習課	79
文化課	80
学校教育課	81
上下水道部	
下水道課	84

※主な事業の各事業は、令和2年度の事業所管課ごとに掲載しています。

## 特 別 会 計

1 住宅新築資金等貸付事業特別会計	85
2 国民健康保険事業特別会計	87
3 介護保険事業特別会計	93
4 後期高齢者医療特別会計	99
5 渡船事業特別会計	101
6 二丈福吉財産区特別会計	103
7 二丈一貴山財産区特別会計	104
基金の状況(特別会計)	105

## 参 考 資 料



# 一 般 会 計





# 1 総括

一般会計実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	36,210,486	37,402,515
歳 出	総 額	35,280,803	36,401,396
歳 入	歳 出 差 引 額	929,683	1,001,119
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額	66,182	13,683
	(2)繰越明許費繰越額	72,866	176,192
	(3)事故繰越し繰越額	2,553	
	計	141,601	189,875
実 質 収 支 額		788,082	811,244

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	35,795,223	993,703	2.9	34,198,066	783,736	2.3	1,597,157
28	39,177,305	3,382,082	9.4	37,385,451	3,187,385	9.3	1,791,854
29	36,335,017	△ 2,842,288	△ 7.3	34,838,202	△ 2,547,249	△ 6.8	1,496,815
30	37,402,515	1,067,498	2.9	36,401,396	1,563,194	4.5	1,001,119
令和 元	36,210,486	△ 1,192,029	△ 3.2	35,280,803	△ 1,120,593	△ 3.1	929,683

科目別決算の状況

歳 入

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度					平成30年度 決算額 (D)	増減額 (C)-(D)=(E)	増減率 (E)/(D)
	予算額 (A)	調定額 (B)	収入額 (C)	対 予 算 収 入 率 (C/A)	(C) の 構 成 比			
1 市 税	9,687,103	10,094,779	9,966,991	102.9	27.5	9,572,182	394,809	4.1
2 地 方 譲 与 税	360,531	351,572	351,572	97.5	1.0	345,469	6,103	1.8
3 利子割交付金	8,027	6,983	6,983	87.0	0.0	15,561	△ 8,578	△ 55.1
4 配当割交付金	35,296	40,085	40,085	113.6	0.1	34,572	5,513	15.9
5 株式等譲渡所得 割 交 付 金	48,474	24,493	24,493	50.5	0.1	31,682	△ 7,189	△ 22.7
6 地方消費税交付金	1,481,377	1,496,407	1,496,407	101.0	4.1	1,532,145	△ 35,738	△ 2.3
7 ゴルフ場利用税 交 付 金	85,918	85,640	85,640	99.7	0.2	83,248	2,392	2.9
8 自動車取得税 交 付 金	92,262	87,313	87,313	94.6	0.2	131,213	△ 43,900	△ 33.5
9 地方特例交付金	223,796	204,029	204,029	91.2	0.6	77,871	126,158	162.0
10 地方交付税	7,818,946	7,897,877	7,897,877	101.0	21.8	7,929,085	△ 31,208	△ 0.4
11 交通安全対策 特 別 交 付 金	18,000	15,199	15,199	84.4	0.0	16,362	△ 1,163	△ 7.1
12 分担金及び負担金	410,477	426,466	418,141	101.9	1.2	558,729	△ 140,588	△ 25.2
13 使用料及び手数料	567,301	614,459	591,224	104.2	1.6	508,139	83,085	16.4
14 国庫支出金	6,645,672	6,339,465	6,116,169	92.0	16.9	6,290,951	△ 174,782	△ 2.8
15 県 支 出 金	4,358,822	4,123,519	3,868,195	88.7	10.7	3,198,634	669,561	20.9
16 財 産 収 入	71,118	81,188	81,188	114.2	0.2	473,991	△ 392,803	△ 82.9
17 寄 附 金	751,000	705,501	705,501	93.9	2.0	500,788	204,713	40.9
18 繰 入 金	1,694,319	1,044,817	1,044,817	61.7	2.9	1,253,482	△ 208,665	△ 16.6
19 繰 越 金	1,001,118	1,001,118	1,001,118	100.0	2.8	1,496,815	△ 495,697	△ 33.1
20 諸 収 入	364,129	508,197	418,865	115.0	1.2	662,066	△ 243,201	△ 36.7
21 市 債	2,291,179	1,788,679	1,788,679	78.1	4.9	2,689,531	△ 900,852	△ 33.5
歳 入 合 計	38,014,866	36,937,787	36,210,486	95.3	100.0	37,402,515	△ 1,192,029	△ 3.2

※各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において計が一致しない場合がある。

歳 出

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度				平成30年度 決算額 (C)	増減額 (B) - (C) = (D)	増減率 (D)/(C)
	予算現額 (A)	支出額 (B)	予 算 執行率 (B/A)	(B) の 構 成 比			
1 議 会 費	262,214	256,883	98.0	0.7	252,037	4,846	1.9
2 総 務 費	3,563,700	3,362,064	94.3	9.5	2,982,042	380,022	12.7
3 民 生 費	16,027,134	15,606,907	97.4	44.2	15,073,444	533,463	3.5
4 衛 生 費	2,842,626	2,715,184	95.5	7.7	3,163,420	△ 448,236	△ 14.2
5 労 働 費	20,397	20,385	99.9	0.1	23,682	△ 3,297	△ 13.9
6 農 林 水 産 業 費	1,748,509	1,618,341	92.6	4.6	1,271,140	347,201	27.3
7 商 工 費	304,632	269,221	88.4	0.8	278,787	△ 9,566	△ 3.4
8 土 木 費	1,882,925	1,330,500	70.7	3.8	2,713,096	△ 1,382,596	△ 51.0
9 消 防 費	1,280,347	1,251,222	97.7	3.5	1,519,142	△ 267,920	△ 17.6
10 教 育 費	3,480,045	2,821,951	81.1	8.0	3,118,501	△ 296,550	△ 9.5
11 災 害 復 旧 費	812,287	363,960	44.8	1.0	285,366	78,594	27.5
12 公 債 費	3,553,375	3,552,837	100.0	10.1	2,947,865	604,972	20.5
13 諸 支 出 金	2,227,338	2,111,348	94.8	6.0	2,772,874	△ 661,526	△ 23.9
14 予 備 費	9,337	—	—	—	—	—	—
歳 出 合 計	38,014,866	35,280,803	92.8	100.0	36,401,396	△ 1,120,593	△ 3.1

## 2 歳 入

市税の年度別推移

(単位:千円、%)

年度	調定額 (A)	収入済額 (B)	収 納 率			収入済額の 対前年度 増減率
			現年 課税分	滞納 繰越分	計 (B)/(A)×100	
平成 27	9,244,993	8,962,170	99.5	25.0	96.9	△ 0.9
28	9,536,280	9,306,767	99.6	27.3	97.6	3.8
29	9,612,507	9,427,604	99.6	26.9	98.1	1.3
30	9,726,828	9,572,182	99.6	30.9	98.4	1.5
令和 元	10,094,779	9,966,991	99.6	37.2	98.7	4.1

## 市税の収納の状況

(単位:千円、%)

科目別	区分	予算額	(A) 調定額	(B) 収入済額	(A)の 構成比	前年度 構成比	収 納 率	
							(B)/(A)	前年度
1	市 民 税	4,632,120	4,897,471	4,831,067	48.5	47.9	98.6	98.4
	(1) 個 人 分	4,240,058	4,404,491	4,339,478	43.6	43.6	98.5	98.3
	ア 現 年 課 税 分	4,223,278	4,339,531	4,317,441	43.0	42.8	99.5	99.5
	(ア) 均 等 割	163,711	169,258	168,396	1.7	1.7	99.5	99.5
	(イ) 所 得 割	4,059,567	4,170,273	4,149,045	41.3	41.1	99.5	99.5
	イ 滞 納 繰 越 分	16,780	64,960	22,037	0.6	0.8	33.9	32.8
	(2) 法 人 分	392,062	492,980	491,589	4.9	4.3	99.7	99.6
	ア 現 年 課 税 分	391,893	491,551	491,091	4.9	4.3	99.9	99.9
	(ア) 均 等 割	163,154	176,303	175,843	1.8	1.7	99.7	99.8
	(イ) 法 人 税 割	228,739	315,248	315,248	3.1	2.6	100.0	100.0
	イ 滞 納 繰 越 分	169	1,429	498	0.0	0.0	34.8	52.9
2	固 定 資 産 税	4,277,474	4,372,081	4,315,275	43.3	43.8	98.7	98.2
	(1) 純 固 定 資 産 税	4,258,126	4,352,525	4,295,719	43.1	43.6	98.7	98.2
	ア 現 年 課 税 分	4,235,173	4,279,282	4,266,097	42.4	42.7	99.7	99.7
	(ア) 土 地	1,454,554	1,465,403	1,460,888	14.5	14.9	99.7	99.7
	(イ) 家 屋	2,175,295	2,193,753	2,186,994	21.7	21.8	99.7	99.7
	(ウ) 償 却 資 産	605,324	620,126	618,215	6.2	6.0	99.7	99.7
	イ 滞 納 繰 越 分	22,953	73,243	29,622	0.7	0.9	40.4	28.6
	(2) 交 付 金 納 付 金	19,348	19,556	19,556	0.2	0.2	100.0	100.0
3	軽 自 動 車 税	275,277	282,139	277,561	2.8	2.8	98.4	98.2
	ア 現 年 課 税 分	272,335	275,329	273,904	2.7	2.8	99.5	99.5
	イ 環 境 性 能 割 分	1,745	2,166	2,166	0.0	—	100.0	—
	ウ 滞 納 繰 越 分	1,197	4,644	1,491	0.1	0.0	32.1	29.7
4	市 町 村 た ば こ 税	495,472	536,639	536,639	5.3	5.4	100.0	100.0
5	目 的 税	6,760	6,449	6,449	0.1	0.1	100.0	100.0
	(1) 入 湯 税	6,760	6,449	6,449	0.1	0.1	100.0	100.0
	ア 現 年 課 税 分	6,760	6,449	6,449	0.1	0.1	100.0	100.0
	イ 滞 納 繰 越 分	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
合	計	9,687,103	10,094,779	9,966,991	100.0	100.0	98.7	98.4
ア	現 年 課 税 分	9,646,004	9,950,503	9,913,343	98.6	98.3	99.6	99.6
イ	滞 納 繰 越 分	41,099	144,276	53,648	1.4	1.7	37.2	30.9

市税収入額の推移(現年課税分)

(単位:千円、%)

科 目	区 分	平成30年度		令和元年度	
		収 入 額	収 納 率	収 入 額	収 納 率
1	市 民 税	4,563,337	99.6	4,808,532	99.5
	個 人	4,147,969	99.5	4,317,441	99.5
	法 人	415,368	99.9	491,091	99.9
2	固 定 資 産 税	4,155,800	99.7	4,285,653	99.7
	純 固 定 資 産 税	4,136,087	99.7	4,266,097	99.7
	交 ・ 納 付 金	19,713	100.0	19,556	100.0
3	軽 自 動 車 税	267,783	99.5	276,070	99.5
4	市 町 村 た ば こ 税	524,799	100.0	536,639	100.0
5	入 湯 税	6,872	100.0	6,449	100.0
合 計		9,518,591	99.6	9,913,343	99.6
一世帯当たり税額(円)		225,201	対前年比 △ 0.9	230,999	対前年比 2.6
一人当たり税額(円)		93,825	0.8	97,510	3.9

※人口 101,665 人、世帯数 42,915 世帯 (令和2年3月末現在住民基本台帳より)

固定資産評価状況

土地

(令和2年度概要調書による)

区 分		筆数	課税地積(m <sup>2</sup> )	評価額(千円)	1m <sup>2</sup> 当たり 平均価格(円)
宅地	小規模住宅用地	40,515	6,200,487	120,329,422	19,406
	一般住宅用地	28,259	5,490,112	60,209,433	10,967
	住宅用地以外の宅地	10,112	4,870,106	64,101,316	13,162
	小 計	78,886	16,560,705	244,640,171	14,772
田	一般 田	21,568	36,691,610	3,915,563	107
	市街化区域田	350	288,509	3,814,943	13,223
畑	一般 畑	22,935	20,267,004	759,201	37
	市街化区域畑	607	281,014	3,697,676	13,158
山林	一般 山林	29,812	51,513,982	1,279,063	25
	介在 山林	84	34,165	55,593	1,627
牧	場	175	222,476	8,345	38
原	野	4,124	2,748,821	89,428	33
鉱	泉 地	1	3	158	52,667
池	沼	146	73,131	1,413	19
雑	種 地	16,453	11,032,413	24,387,882	2,211
合 計		175,141	139,713,833	282,649,436	2,023

家屋

(木造)

(令和2年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)
専 用 住 宅	25,892	3,187,082	76,914,883	24,133
共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	433	109,418	3,685,038	33,679
併 用 住 宅	661	99,235	1,722,062	17,353
旅 館 ・ 料 亭 ・ ホ テ ル	28	8,200	122,955	14,995
事 務 所 ・ 銀 行 ・ 店 舗	462	45,677	1,214,666	26,593
劇 場 ・ 病 院	38	7,966	274,149	34,415
工 場 ・ 倉 庫	365	42,190	344,261	8,160
土 蔵	80	1,946	3,336	1,714
附 属 家	8,697	461,571	1,754,497	3,801
合 計	36,656	3,963,285	86,035,847	21,708

(非木造)

(令和2年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)	
鉄 骨 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	87	102,197	6,698,082	65,541	
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	1,073	602,557	39,039,397	64,790	
鉄 骨 造	2,437	865,442	29,729,839	34,352	
軽 量 鉄 骨 造	4,464	595,526	13,016,752	21,858	
コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 造	712	24,992	332,295	13,296	
合 計	8,773	2,190,714	88,816,365	40,542	
内 訳	住 宅 ・ ア パ ー ト	3,641	1,010,049	49,508,732	49,016
	そ の 他	5,132	1,180,665	39,307,633	33,293



新・増築家屋の状況(平成31年1月2日～令和2年1月1日)

(木造)

(令和2年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(m <sup>2</sup> )	評価額(千円)	1m <sup>2</sup> 当たり 平均価格(円)
専 用 住 宅	543	60,898	4,436,477	72,851
共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	12	5,320	344,467	64,749
併 用 住 宅	12	1,269	84,085	66,261
旅 館 ・ 料 亭 ・ ホ テ ル	7	476	37,432	78,639
事 務 所 ・ 銀 行 ・ 店 舗	16	1,624	92,477	56,944
劇 場 ・ 病 院	1	215	12,560	58,419
工 場 ・ 倉 庫	3	522	18,603	35,638
土 蔵	0	0	0	0
附 属 家	16	516	20,857	40,421
合 計	610	70,840	5,046,958	71,244

(非木造)

(令和2年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(m <sup>2</sup> )	評価額(千円)	1m <sup>2</sup> 当たり 平均価格(円)	
鉄 骨 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	0	0	0	0	
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	6	4,795	573,942	119,696	
鉄 骨 造	32	15,269	997,668	65,339	
軽 量 鉄 骨 造	70	11,384	901,249	79,168	
コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 造	0	0	0	0	
合 計	108	31,448	2,472,859	78,633	
内 訳	住 宅 ・ ア パ ー ト	52	16,128	1,500,359	93,028
	そ の 他	56	15,320	972,500	63,479

歳入科目別・年度別決算の推移

地方譲与税

(単位:千円、%)

年 度	地方揮発油譲与税		自動車重量税		森林環境譲与税		合計	
	決算額	対前年度増減率	決算額	対前年度増減率	決算額	対前年度増減率	決算額	対前年度増減率
平成 27	105,364	6.2	241,506	4.0	—	—	346,870	4.7
28	100,325	△ 4.8	243,146	0.7	—	—	343,471	△ 1.0
29	98,942	△ 1.4	242,518	△ 0.3	—	—	341,460	△ 0.6
30	99,749	0.8	245,720	1.3	—	—	345,469	1.2
令和 元	88,150	△ 11.6	253,860	3.3	9,562	皆増	351,572	1.8

利子割交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
平成 27	19,034	△ 15.8
28	9,685	△ 49.1
29	17,710	82.9
30	15,561	△ 12.1
令和 元	6,983	△ 55.1

配当割交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
平成 27	53,804	△ 25.0
28	31,620	△ 41.2
29	45,820	44.9
30	34,572	△ 24.5
令和 元	40,085	15.9

株式等譲渡所得割交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
平成 27	50,055	25.2
28	20,992	△ 58.1
29	48,474	130.9
30	31,682	△ 34.6
令和 元	24,493	△ 22.7

地方消費税交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
平成 27	1,682,123	78.6
28	1,505,588	△ 10.5
29	1,523,632	1.2
30	1,532,145	0.6
令和 元	1,496,407	△ 2.3

ゴルフ場利用税交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	88,631	2.7
28	83,661	△ 5.6
29	85,496	2.2
30	83,248	△ 2.6
令和 元	85,640	2.9

自動車取得税交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	78,620	50.0
28	91,427	16.3
29	125,278	37.0
30	131,213	4.7
令和 元	87,313	△ 33.5

地方特例交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	51,042	6.0
28	55,025	7.8
29	64,008	16.3
30	77,871	21.7
令和 元	204,029	162.0

地方交付税

(単位:千円、%)

年 度	普 通 交 付 税		特 別 交 付 税		合 計	
	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	8,140,912	△ 6.6	623,763	△ 0.7	8,764,675	△ 6.2
28	7,784,971	△ 4.4	618,462	△ 0.8	8,403,433	△ 4.1
29	7,535,988	△ 3.2	598,973	△ 3.2	8,134,961	△ 3.2
30	7,261,450	△ 3.6	667,635	11.5	7,929,085	△ 2.5
令和 元	7,220,946	△ 0.6	676,931	1.4	7,897,877	△ 0.4

※平成27年度特別交付税は、震災復興特別交付税を2千円含んでいます。

## 交通安全対策特別交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	18,987	12.2
28	18,876	△ 0.6
29	18,071	△ 4.3
30	16,362	△ 9.5
令和 元	15,199	△ 7.1

## 分担金及び負担金

(単位:千円、%)

年 度	分 担 金		負 担 金		合 計	
	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	7,704	△ 39.3	604,415	0.0	612,119	△ 0.8
28	11,868	54.0	519,087	△ 14.1	530,955	△ 13.3
29	13,378	12.7	525,356	1.2	538,734	1.5
30	8,603	△ 35.7	550,126	4.7	558,729	3.7
令和 元	11,831	37.5	406,310	△ 26.1	418,141	△ 25.2

## 使用料及び手数料

(単位:千円、%)

年 度	使 用 料		手 数 料		合 計	
	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	185,290	2.3	281,905	11.7	467,195	7.8
28	199,002	7.4	284,316	0.9	483,318	3.5
29	192,222	△ 3.4	291,630	2.6	483,852	0.1
30	197,917	3.0	310,222	6.4	508,139	5.0
令和 元	194,217	△ 1.9	397,007	28.0	591,224	16.4

## 国庫支出金

(単位:千円、%)

年 度	国 庫 負 担 金		国 庫 補 助 金		委 託 金		合 計	
	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	4,602,240	11.3	1,751,734	△ 4.3	29,532	△ 6.3	6,383,506	6.4
28	4,611,917	0.2	1,566,034	△ 10.6	29,149	△ 1.3	6,207,100	△ 2.8
29	4,730,628	2.6	1,534,901	△ 2.0	28,040	△ 3.8	6,293,569	1.4
30	4,939,894	4.4	1,323,372	△ 13.8	27,685	△ 1.3	6,290,951	0.0
令和 元	5,217,900	5.6	869,908	△ 34.3	28,361	2.4	6,116,169	△ 2.8

県支出金

(単位:千円、%)

年 度	県 負 担 金		県 補 助 金		委 託 金		合 計	
	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率
平成 27	1,808,753	17.3	1,111,379	3.8	205,911	6.0	3,126,043	11.4
28	1,849,660	2.3	1,230,110	10.7	183,258	△ 11.0	3,263,028	4.4
29	1,949,088	5.4	883,867	△ 28.1	182,445	△ 0.4	3,015,400	△ 7.6
30	2,002,476	2.7	1,022,025	15.6	174,133	△ 4.6	3,198,634	6.1
令和 元	2,118,941	5.8	1,544,496	51.1	204,758	17.6	3,868,195	20.9

財産収入

(単位:千円、%)

年 度	財 産 運 用 収 入		財 産 売 払 収 入		合 計	
	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率
平成 27	26,280	△ 10.5	188,567	116.6	214,847	84.5
28	24,830	△ 5.5	41,702	△ 77.9	66,532	△ 69.0
29	39,954	60.9	161,750	287.9	201,704	203.2
30	24,210	△ 39.4	449,781	178.1	473,991	135.0
令和 元	34,226	41.4	46,962	△ 89.6	81,188	△ 82.9

寄附金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	109,629	997.7
28	184,078	67.9
29	383,189	108.2
30	500,788	30.7
令和 元	705,501	40.9

繰入金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
平成 27	34,449	△ 44.8
28	3,711,567	10,674.1
29	656,914	△ 82.3
30	1,253,482	90.8
令和 元	1,044,817	△ 16.6

## 繰越金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
平成 27	1,387,190	0.9
28	1,597,157	15.1
29	1,791,854	12.2
30	1,496,816	△ 16.5
令和 元	1,001,118	△ 33.1

## 諸収入

(単位:千円、%)

年 度	延滞金加算金及び過料		市 預 金 利 子		貸 付 金 元 利 収 入	
	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
平成 27	29,505	23.7	848	△ 3.1	34,782	△ 6.8
28	30,925	4.8	389	△ 54.1	95,636	175.0
29	33,755	9.2	469	20.6	25,865	△ 73.0
30	30,398	△ 9.9	485	3.4	25,595	△ 1.0
令和 元	39,126	28.7	331	△ 31.8	25,697	0.4

受 託 事 業 収 入		雑 入		合 計	
決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
54,547	△ 8.9	329,535	0.6	449,217	△ 0.1
44,166	△ 19.0	340,814	3.4	511,930	14.0
18,673	△ 57.7	350,203	2.8	428,965	△ 16.2
23,956	28.3	581,632	66.1	662,066	54.3
14,349	△ 40.1	339,362	△ 41.7	418,865	△ 36.7

## 市 債

(単位:千円、%)

年 度	臨時財政対策債以外		臨時財政対策債		合 計	
	決 算 額	対前年度 増減率	決 算 額	対前年度 増減率	決 算 額	対前年度 増減率
平成 27	1,622,500	11.8	1,272,516	△ 14.4	2,895,016	△ 1.5
28	1,732,300	6.8	1,018,794	△ 19.9	2,751,094	△ 5.0
29	1,619,900	△ 6.5	1,088,421	6.8	2,708,321	△ 1.6
30	1,587,300	△ 2.0	1,102,231	1.3	2,689,531	△ 0.7
令和 元	907,200	△ 42.8	881,479	△ 20.0	1,788,679	△ 33.5

## 事業別地方債の借入状況

(単位:千円)

事業名	借入先	財務省 財政融資資金	地方公共団体 金融機構資金	その他	合計
合併推進債(新庁舎整備事業)				12,500	12,500
合併推進債(放課後児童クラブ整備事業)				5,500	5,500
波多江放課後児童クラブ整備事業				4,700	4,700
加布里放課後児童クラブ整備事業				800	800
合併推進債(運動公園等整備事業)				104,200	104,200
合併推進債(火葬場改修事業)				29,900	29,900
合併推進債(常備消防施設整備事業)				21,500	21,500
防犯灯管理事業				19,600	19,600
県営土地改良事業		31,400			31,400
農業水利施設等整備事業		32,700	3,100	1,600	37,400
県営農地防災事業		6,500		1,500	8,000
林道新設改良事業		10,900		2,700	13,600
広域基幹林道開設事業			6,400		6,400
林道緊急自然災害防止対策事業			1,400		1,400
姫島漁港整備事業		7,900			7,900
水産環境整備事業		5,400			5,400
漁港改修等事業		800		2,600	3,400
姫島漁港整備事業(繰越明許費分)				900	900
建築行為等道路後退事業			1,600		1,600
道路整備事業			39,400		39,400
新田久保田線整備事業			16,900		16,900
浦志有田線整備事業			8,400		8,400
前原潤線整備事業			6,300		6,300
小町2号線整備事業			5,100		5,100
加布里停車場線歩道設置事業			2,700		2,700
橋梁長寿命化事業			25,900		25,900
道路整備事業(繰越明許費分)				36,700	36,700
新田久保田線整備事業				35,100	35,100
前原西中学校前線整備事業				1,600	1,600
橋梁長寿命化事業(繰越明許費分)				4,100	4,100
交通安全施設整備事業(繰越明許費分)				17,500	17,500
河川等災害関連事業(繰越明許費分)				7,200	7,200
県営街路整備事業			25,100		25,100
波多江駅自由通路整備事業			8,400		8,400
波多江駅自由通路整備事業(継続費分)				33,900	33,900
消防施設整備事業			20,700	6,800	27,500
県防災行政情報通信ネットワーク整備事業(危機管理課分)				6,800	6,800
消防団ポンプ自動車整備事業			20,700		20,700
常備消防施設整備事業			10,600	17,400	28,000
防火水槽整備事業			10,600		10,600
県防災行政情報通信ネットワーク整備事業(消防本部分)				5,500	5,500
高規格救急自動車整備事業				11,900	11,900



## 事業別地方債の借入状況

(単位:千円)

事業名	借入先 財務省 財政融資資金	地方公共団体 金融機構資金	その他	合計
小学校大規模改造事業	28,300	210,400		238,700
前原小学校大規模改造事業(校舎分)		202,100		202,100
波多江小学校校舎大規模改造事業		8,300		8,300
前原小学校大規模改造事業(トイレ分)	28,300			28,300
公民館改修事業		9,800	11,400	21,200
市立公民館設備改修事業(長糸公民館)		9,800		9,800
庁舎等照明機器改修事業(南風公民館)			11,400	11,400
一般会計出資金		58,200		58,200
福岡地区水道企業団繰出金		10,800		10,800
上水道事業補助金		47,400		47,400
臨時財政対策債	881,479			881,479
農業用施設災害復旧事業	2,000			2,000
林道施設災害復旧事業	1,300			1,300
林道施設災害復旧事業(繰越明許費分)	5,100			5,100
観光施設災害復旧事業	2,800			2,800
観光施設災害復旧事業(繰越明許費分)	11,300			11,300
道路橋りょう災害復旧事業	1,500			1,500
河川災害復旧事業	800			800
合計	1,030,179	421,000	337,500	1,788,679

地方債現在高の状況

(単位:千円)

区 分	平成30年度末 現 在 高 (A)	令和元年度 発 行 額 (B)	令和元年度元利償還額			(D)の財源内訳		令和元年度末 現 在 高 (A+B-C)
			元金 (C)	利子	計 (D)	特定財源	税等	
1 公共事業等債	2,232,472	184,600	162,217	11,165	173,382	0	173,382	2,254,855
2 防災・減災・国土強靱化 緊急対策事業債	0	29,800	0	0	0	0	0	29,800
3 公 営 住 宅 建 設 事 業 債	488,120	0	72,689	7,198	79,887	16,360	63,527	415,431
4 災害復旧事業債	63,890	24,800	8,828	101	8,929	0	8,929	79,862
5 (旧)緊急防災・ 減災事業債	95,191	0	25,750	407	26,157	0	26,157	69,441
6 全国防災事業債	37,467	0	5,709	51	5,760	0	5,760	31,758
7 教育・福祉施設等 整備事業債	3,460,007	222,300	666,868	27,976	694,844	0	694,844	3,015,439
8 一般単独事業債	4,308,487	274,200	890,709	25,977	916,686	10,844	905,842	3,691,978
9 辺地対策事業債	37,903	0	8,349	180	8,529	0	8,529	29,554
10 財 源 対 策 債	2,108,676	113,300	206,701	14,556	221,257	0	221,257	2,015,275
11 減 税 補 て ん 債	226,041	0	53,382	793	54,175	0	54,175	172,659
12 臨時財政対策債	15,193,441	881,479	1,169,668	67,662	1,237,330	0	1,237,330	14,905,252
13 県 貸 付 金	444,810	0	26,588	179	26,767	0	26,767	418,222
14 そ の 他	1,044,882	58,200	81,037	18,097	99,134	0	99,134	1,022,045
一般会計合計	29,741,387	1,788,679	3,378,495	174,342	3,552,837	27,204	3,525,633	28,151,571
住宅新築資金等 貸付事業債	2,130	0	1,243	58	1,301	1,301	0	887
合 計	29,743,517	1,788,679	3,379,738	174,400	3,554,138	28,505	3,525,633	28,152,458

※各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において計が一致しない場合がある。

※14その他の欄には、平成24年度末に廃止された救急医療事業特別会計の救急医療事業債を含む。

## 借入先別地方債現在高の状況

(単位:千円)

借入先	平成30年度末 現在高	令和元年度 発行額	令和元年度 償還元金	令和元年度末 現在高
財政融資資金	16,492,328	1,030,179	1,443,645	16,078,862
うち旧資金運用部資金	579,668	0	132,042	447,625
うち旧還元融資資金	80,572	0	10,156	70,416
旧日本郵政公社資金	2,245,367	0	393,555	1,851,812
(1)旧郵便貯金資金	525,818	0	75,133	450,685
(2)旧簡易生命保険資金	1,719,549	0	318,422	1,401,127
地方公共団体金融機構資金	7,179,536	421,000	599,553	7,000,983
うち旧公営企業金融公庫資金	809,398	0	112,361	697,037
市中銀行	1,957,660	103,400	587,100	1,473,960
その他の金融機関	180,340	0	180,340	0
共済等	146,200	48,600	12,950	181,850
その他	1,539,956	185,500	161,352	1,564,104
一般会計合計	29,741,387	1,788,679	3,378,495	28,151,571
旧簡易生命保険資金 (住宅新築資金等貸付事業分)	2,130	0	1,243	887
合計	29,743,517	1,788,679	3,379,738	28,152,458

※各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において計が一致しない場合がある。

※財政融資資金、うち旧資金運用部資金及びうち旧還元融資資金には、平成24年度末に廃止された救急医療事業特別会計分を含む。

基金の状況(一般会計)

(単位:千円)

名 称	平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
		積立	取崩	
財政調整基金	5,869,081	418,340	600,000	5,687,421
減債基金	101,965	10		101,975
国際交流基金	9,281	1	1,608	7,674
ふるさと応援基金	458,462	698,739	410,620	746,581
災害活動等支援基金	21,117	6		21,123
水源保全基金	47,472	12,267	10,445	49,294
校区まちづくり応援基金	0	0	0	0
青少年育成基金	2,212		500	1,712
定住・ブランド基金	28,918	20,004	10,936	37,986
公共施設等総合管理推進基金	3,685,507	7,387		3,692,894
再生可能エネルギー推進基金	30,829	23,837	6,508	48,158
森林環境譲与税基金		9,562		9,562
定額運用基金	二丈町合併10周年記念奨学基金	11,648		11,648
	高額療養費支払資金貸付基金	9,700		9,700
	高額介護サービス費支払資金貸付基金	3,000		3,000
一 般 会 計 合 計	10,279,192	1,190,153	1,040,617	10,428,728

## 地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途状況

地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)地方消費税交付金(社会保障財源化分) 707,358 千円

(歳出)地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策の経費 15,528,077 千円

(単位:千円)

施策区分	決算額	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	地方債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	一般財源	
社会福祉	社会福祉総務費	112,991	31,784		157	8,238	72,812
	障害者福祉費	1,896,285	1,343,576		282	56,151	496,276
	重度障害者医療対策費	251,617	79,873		63,526	11,000	97,218
	老人福祉費	1,419,951	15,766		17,115	140,988	1,246,082
	健康福祉センター等管理費	91,142			35,901	5,615	49,626
	児童福祉総務費	667,633	502,077		24,621	14,325	126,610
	児童保護費	3,315,069	2,068,315		391,767	86,905	768,082
	母子福祉費	45,593	31,359		47	1,442	12,745
	ひとり親家庭等医療対策費	78,045	33,004		9,646	3,598	31,797
	子ども医療対策費	278,368	117,237		28,931	13,437	118,763
	放課後児童クラブ費	241,128	139,461	5,500	2,047	9,567	84,553
	児童手当費	1,760,770	1,489,327			27,591	243,852
	児童扶養手当費	640,317	214,432			43,289	382,596
	生活保護総務費	11,128	7,289			390	3,449
	生活保護扶助費	1,378,149	1,069,138		19,637	29,413	259,961
社会保険	国民健康保険事業	1,093,813	498,286			60,532	534,995
	介護保険事業	1,299,252	47,354			127,249	1,124,649
	後期高齢者医療事業	357,875	222,286			13,782	121,807
保健衛生	保健予防費	433,013	15,623		15,551	40,845	360,994
	救急医療対策費	155,938			28,036	13,001	114,901
合計	15,528,077	7,926,187	5,500	637,264	707,358	6,251,768	

※上記の社会保障施策の経費は、事務費及び事務職員の人件費等を含みません。

## 入湯税の使途状況

令和元年度入湯税を充当する主な事業

(単位:千円)

事業名	令和元年度 事業費	一般財源	
		うち入湯税	
その他観光施設管理事業	16,386	15,704	6,449

### 3 歳 出

主な事業(総務部 総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
文 書 管 理 費	61,954	◎ 文書管理システム更新事業 12,654  【目的】 文書管理と財務会計で電子決裁を導入し、全庁的なペーパーレス化を推進していく。 【対象】 市職員 【成果】 令和元年10月に株式会社BCCの文書管理システムに変更した。

主な事業(総務部 管財契約課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
公用車管理費	9,065	<p>◎ 庁用自動車購入等事業 〈平成26年度～令和3年度〉</p> <p>4,198</p> <p>【目的】 庁用自動車の経年劣化が全体的に進んでいるため、計画的に買換えることにより、維持管理費を抑制し、車両が原因となる事故等を未然に防止する。</p> <p>【対象】 市が所有する庁用自動車</p> <p>【成果】 計画的な買換えにより、車両が原因となる事故等は発生していない。</p>
新庁舎整備事業費	34,090	<p>◎ 新庁舎整備事業 〈令和元年度～令和6年度〉</p> <p>34,090 (県 3,167) (市債 12,500)</p> <p>【目的】 現庁舎は老朽化し、多くの課題を抱えている。 将来の行政機能、防災拠点機能を確保するため新庁舎を整備する。</p> <p>【対象】 市庁舎を利用する市民等</p> <p>【成果】 県補助金(補助率100%)を活用し、新庁舎の再生可能エネルギー導入可能性調査を実施した。 有識者で構成する外部委員会を3回開催。新庁舎は省エネ基準値50%以上の削減(ZEB Ready)を達成する施設として計画する。</p>

主な事業(総務部 危機管理課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
防犯灯管理費	45,526	<p>◎ 防犯灯LED転換事業 21,773                      (平成27年度～令和4年度) (市債 19,600)</p> <p>【目的】                      防犯灯をLEDに転換し、①安全安心なまちづくりの推進、②環境に配慮した低炭素社会への寄与、③消費電力の削減による市及び行政区の財政負担の軽減、④市内経済活性化と雇用の創出を図る。</p> <p>【対象】                      LED灯以外の防犯灯(2,363基:令和2年3月31日現在)</p> <p>【成果】                      963基をLEDに転換した。</p>
消防施設整備事業費	85,061	<p>◎ 県防災行政情報通信ネットワーク整備事業 6,851                      (危機管理課) (市債 6,800)                      (平成29年度～令和元年度)</p> <p>【目的】                      拡大する電波利用に迅速かつ適切に対応するため、県が整備している防災・行政情報通信ネットワークを、現在の衛星系無線回線及びMCAアナログ地上系無線回線から、民間光回線及び自営デジタル地上系無線に更新する。</p> <p>【対象】                      県防災・行政無線情報通信ネットワーク                      ①空中線設備(アンテナ) ②無線機                      ③防災情報端末 ④防災複合機                      ⑤一斉受信装置 ⑥光回線接続装置                      ⑦防災電話 ⑧情報表示板</p> <p>【成果】                      令和元年度事業費の一部6,851千円を負担し支出した。</p>
地域防災対策費	14,651	<p>◎ 原子力防災用大型自動車運転免許取得事業 1,058                      (平成28年度～令和2年度) (県 1,058)</p> <p>【目的】                      原子力災害が発生し、バス等大型車両により住民等を避難させる必要がある時に市の職員が車両を運転する必要があることを想定して、第一種大型自動車運転免許を取得させる。</p> <p>【対象】                      令和元年度は市職員4人</p> <p>【成果】                      計画どおり職員4人が第一種大型自動車運転免許を取得した。</p> <p>◎ 校区避難所運営訓練事業 2,208                      (平成30年度～令和3年度) (国 2,000)                      (基金 208)</p> <p>【目的】                      地域防災力の向上を図る。</p> <p>【対象】                      全小学校校区において実施する。</p> <p>【成果】                      令和元年6月から令和2年2月にかけて、怡土、長糸、一貴山、桜野、加布里及び東風校区において避難所運営訓練を実施した。参加者は、自主防災組織の役員を始め、小中学生の約1,964人。今年度は、3校区で小学校が参加したことで、大人から子供まで幅広い年代に対し、防災意識向上のアプローチを図ることができた。参加者アンケート(5段階評価)で「満足」、「やや満足」を選んだ人の割合は、全体で78%となった。</p>



人件費の推移

(単位:千円、%)

年度	人件費	歳出総額		税込総額		税込+地方交付税額	
		総額	人件費の割合	税込	人件費の割合	合計額	人件費の割合
27	5,212,283	34,229,260	15.2	8,962,170	58.2	17,726,845	29.4
28	5,124,446	37,400,839	13.7	9,306,767	55.1	17,710,200	28.9
29	5,116,254	34,863,833	14.7	9,427,604	54.3	17,562,565	29.1
30	5,092,859	36,415,415	14.0	9,572,182	53.2	17,501,267	29.1
元	5,055,105	35,298,559	14.3	9,966,991	50.7	17,864,868	28.3

※事業費支弁人件費を除く

※地方財政状況調査より(普通会計)

人件費の内訳

(単位:千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度	増減率
1 議員報酬手当	146,450	149,516	2.1
2 委員等報酬	570,001	566,307	△ 0.6
3 市町村長等特別職の給与	37,118	37,104	△ 0.0
4 職員給	3,106,742	3,159,111	1.7
(1) 基本給	1,966,527	1,983,826	0.9
(ア) 給料	1,767,875	1,788,112	1.1
(イ) 扶養手当	78,317	76,294	△ 2.6
(ウ) 地域手当	120,335	119,420	△ 0.8
(2) その他の手当	1,140,215	1,175,285	3.1
(ア) 時間外勤務手当	181,938	197,124	8.3
(イ) 管理職手当	50,511	64,551	27.8
(ウ) 期末勤勉手当	797,770	799,637	0.2
(エ) その他	109,996	113,973	3.6
5 地方公務員共済組合等負担金	723,387	713,005	△ 1.4
6 退職手当組合負担金	431,721	351,155	△ 18.7
7 災害補償費	4,727	5,624	19.0
8 職員互助会補助金	2,364	2,283	△ 3.4
9 その他	70,349	71,000	0.9
合計	5,092,859	5,055,105	△ 0.7

※地方財政状況調査より(普通会計)

※事業費支弁人件費を除く

参考:事業費支弁人件費を含む人件費

(単位:千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度	増減率
人件費(事業費支弁人件費を含む)	5,194,390	5,108,849	△ 1.6
うち事業費支弁人件費	101,531	53,744	△ 47.1

参考:普通会計職員数(各4月1日現在)

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	増減数
一般職員	385	375	△ 10
教育公務員	2	2	0
消防職員	101	98	△ 3
合計	488	475	△ 13

主な事業(企画部 経営戦略課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
行政改革推進費	10,855	<p>◎ RPA導入推進事業 9,127 (国 2,666)</p> <p>【目的】 定型業務の自動化を図ることで、職員の作業時間を削減し、長時間勤務を抑制しつつ、効果的な政策立案や細やかな市民対応を行う時間を増加させる。</p> <p>【対象】 市職員</p> <p>【成果】 導入5業務 ・納税通知書等宛名登録、修正業務 ・支払いに係る債権者登録業務 ・保育所等委託費等支払い業務 ・実施計画策定業務 ・支出伝票作成業務</p>
運動公園等整備事業費	148,428	<p>◎ 運動公園等整備事業 148,428 (平成30年度～令和4年度) (国 20,000) (市債 104,200)</p> <p>【目的】 運動機能、交流機能、防災機能等を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、以下に示す効果を発揮する。 ・市民ニーズを踏まえた施設の整備や民間ノウハウを活かした維持管理・運営により、多くの市民の満足度を向上させる。 ・防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。 ・公共施設総合管理計画に基づき、施設の統廃合を行い、合理的で最適な施設配置や機能の維持・向上により、施設を適正な状態で引き継ぐことができる。 ・DBO方式とすることで、従来方式と比べ、約9%の経費削減効果を見込むことができる。</p> <p>【対象】 子どもから高齢者までの全市民</p> <p>【成果】 事業用地の取得 業務要求水準書の作成・公表 事業契約書(案)の作成・公表 事業者選定に係る委員会の設置・開催 (落札者決定基準の作成、最優秀提案の選定) 事業者の選定(入札公告から落札者の決定まで) 糸島市公園条例及び糸島市体育施設条例の改正</p>
ふるさと応援寄附推進事業費	359,771	<p>◎ ふるさと応援寄附推進事業 359,771</p> <p>【目的】 ふるさと応援寄附制度を利用して獲得した寄附金により、市民が望み、幸せを感じられる事業を実施する。 市の産品等を返礼品として贈呈することにより、地元産品等の販売拡大及びPRに寄与し、市内産業の活性化を図る。</p> <p>【対象】 糸島市を応援する全国の寄附者</p> <p>【成果】 寄附金額:698,647,578円 充当事業・金額:47事業・410,620,206円 返礼品代(市内事業者支払分):183,663,219円</p>

主な事業(企画部 経営戦略課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
市制施行10周年 記念事業費	3,377	<p>◎ 市制施行10周年記念事業 3,377 (基金 3,377)</p> <p>【目的】 糸島市誕生からの軌跡を振り返り、10年で育んだ「元気で豊かな糸島」を次の10年・20年へつなげる機会とし、次代を担う若者をはじめとした市民の郷土愛を深め、誇りを高める。</p> <p>【対象】 全市民</p> <p>【成果】 市制施行10周年記念式典の開催。来場700人 郷土の偉人の選定、公表 記念ロゴマークの作成及び啓発物品の販売。缶バッジ485個、ポロシャツ332枚、ネックストラップ251個 記念おせち「いとしま祝い重」開発補助。300個販売 「出張！なんでも鑑定団in糸島」の開催。来場900人 記念冊子の作成。10,000部作成、市内全児童生徒及び式典来場者等に配布</p>
その他企画費	29,075	<p>◎ 第2次糸島市長期総合計画策定事業 6,792 (平成30年度～令和2年度)</p> <p>【目的】 第1次糸島市長期総合計画を検証しながら、社会情勢の変化や財政状況などを見極め、課題を認識し市民とともに“新しい時代の糸島”を創っていくため、第2次糸島市長期総合計画を策定する。</p> <p>【対象】 糸島市全体</p> <p>【成果】 まちづくり市民委員会:5回開催 277人参加 総合計画審議会:6回開催 総合計画審議会による第2次長期総合計画の中間答申</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
バス路線運行維持事業費	73,086	<p>◎ バス路線運行補助事業(運行費補助分) 65,894</p> <p>【目的】 「糸島市地域公共交通網形成計画」の事業計画に基づき、市内のバス交通を整備充実することによって、市民の生活交通手段の確保や交通不便地域の縮減等を図る。</p> <p>【対象】 公共交通利用者</p> <p>【成果】 生活交通手段の確保によるバス利用者数 293,370人(対前年度比18,222人減) バス停13箇所ベンチ設置</p> <p>◎ 自主運行バス事業 4,654</p> <p>【目的】 行政と校区の協働によるバス運行により、市民の生活交通手段の確保や交通不便地域の縮減を図る。</p> <p>【対象】 交通不便地域に住む市民</p> <p>【成果】 福吉校区2,797人(前年比-127人) 一貴山校区2,515人(前年比-164人) 引津校区1,570人(前年比+422人) 長糸校区1,922人(+912人)</p> <p>◎ 地域公共交通網再編実施計画策定事業 2,538 (国 1,269)</p> <p>【目的】 交通政策のマスタープランである「糸島市地域公共交通網形成計画」を実現するための実施計画として、「糸島市地域公共交通再編実施計画」を策定する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 令和2年3月末に「糸島市地域公共交通再編実施計画(案)」を策定し、市公共交通会議にて承認を受けた。</p>
九州大学連携推進費	27,812	<p>◎ 地方バス路線運行事業(九大線) 15,238 (県 192)</p> <p>【目的】 市内から九州大学までの交通アクセスを整備することにより、九大生や教職員の市内への定住促進及び市の活性化を図る。</p> <p>【対象】 九州大学の学生・教職員</p> <p>【成果】 九大線利用者数 142,351人(対前年度比11,313人減)</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
市民協働まちづくり 推進事業費	37,684	<p>◎ 市民提案型まちづくり事業 1,714                      〈平成30年度～令和2年度〉                      (国 853)                      (基金 861)</p> <p>【目的】                      NPOやボランティアの持つ専門性、迅速性を生かして地域の課題解決を図る。</p> <p>【対象】                      営利活動、政治活動または宗教活動を目的とせず、市内に事務所または拠点を有し活動する市民団体。</p> <p>【成果】                      提案団体8団体中、6団体が本事業に採択され実施した。</p> <p>◎ 校区まちづくり推進事業 16,300                      〈令和元年度～令和3年度〉                      (国 8,150)</p> <p>【目的】                      地域にある課題の解決や地域資源を活用したまちづくりを行うため、小学校区を単位とする地域コミュニティの振興を図る。</p> <p>【対象】                      各校区で生活する糸島市民</p> <p>【成果】                      15校区で校区まちづくり推進事業 88事業実施</p> <p>◎ 市民まつり事業 10,000</p> <p>【目的】                      地域活性化、市の情報・魅力発信等を目的に、市民主体・協働で実施する。</p> <p>【対象】                      市民まつりに関わる糸島市民</p> <p>【成果】                      10月5、6日の2日間、糸島市制施行10周年記念の市民まつりとして開催し、約75,000人の来場があった。</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>広域連携プロジェクト事業費</p>	<p>4,426</p>	<p>◎ 広域連携プロジェクト事業 4,426                      (平成27年度～令和2年度) (国 2,213)</p> <p>【目的】                      歴史・文化、豊かな観光資源、農業を始めとした産業、九州大学との連携協定等の糸島市の強みを、福岡県と連携して事業を行うことで広く発信し、糸島市が持つ魅力を向上させる。</p> <p>【対象】                      県内に設定された15の広域地域振興圏のひとつである糸島地域振興圏に住む市民</p> <p>【成果】                      1 糸島の未来の人材を創る「いとしま学」プロジェクト                      ・未来の糸島を創る「いとしま学チャレンジ教室」の実施                      3中学校で3回実施。中学生延べ404人参加。                      ・糸島地域の歴史・文化・自然・産業を知る「いとしま学体験プログラム」の実施                      体験プログラムを33回実施。市内外から延べ382人参加。                      ・テキスト「いとしま学」の改訂                      平成27年度に作成した小中学生向けテキスト「いとしま学」の改訂を協議。6回実施。                      2 糸島農業振興プロジェクト                      ・「生徒とともに学ぶ糸農講座」の実施                      糸島農業高校との連携事業。同校生徒が講師役となって体験プログラムを9回実施。市内外から延べ136人参加。                      ・中村学園大学・短期大学部との連携                      耕作放棄地再生プロジェクトとして8回活動。                      ・糸島農業PR事業                      (ア)JA糸島花卉青年部と連携した花の体験プログラム。3回実施延べ65人参加。                      (イ)いとしま直売所スタンプラリー2019。応募総数767件。                      (ウ)糸島直売所ガイドブック「いとしまを食べる」20,000部増刷。</p>
<p>コミュニティ推進事業費</p>	<p>28,184</p>	<p>◎ 行政区等公民館・児童遊園地施設費等補助金交付事業 13,884</p> <p>【目的】                      地域コミュニティ活動の推進及び生涯学習活動の振興</p> <p>【対象】                      当該施設を設置し、管理する行政区等</p> <p>【成果】                      10団体に13,884,000円を交付。地域自治活動の活性化を促すことができた。</p>
<p>公民館管理運営費</p>	<p>200,341</p>	<p>◎ エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 13,377                      (平成29年度～令和元年度) (国 11,163)                      (基金 2,214)</p> <p>【目的】                      再生可能エネルギー導入による環境への負荷をかけないまちづくりを促進する。</p> <p>【対象】                      市民</p> <p>【成果】                      一貴山公民館太陽光発電設備設置工事</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
公民館改修事業費	23,986	<p>◎ 市立公民館設備改修事業 〈平成29年度～令和元年度〉 10,478 (市債 9,800)</p> <p>【目的】 公民館は、生涯学習、校区まちづくりの拠点施設であり、また、災害時の避難施設でもあることから、空調設備を整備することで快適な施設環境を利用者に提供する。</p> <p>【対象】 施設利用者</p> <p>【成果】 長糸公民館空調機改修工事</p> <p>◎ 庁舎等照明機器改修事業 13,508 (市債 11,400)</p> <p>【目的】 省エネ、節電、二酸化炭素排出量の削減等の環境保全方策を市が率先垂範して実施することを市内外へPRする。</p> <p>【対象】 糸島市</p> <p>【成果】 南風公民館の照明機器はLEDへ取替工事完了</p>

主な事業(企画部 秘書広報課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
情報システム管理費	114,580	<p>◎ 業務端末セキュリティ強化事業 6,021</p> <p>【目的】 マイナンバー利用事務系、LGWAN接続系で利用している業務端末のセキュリティを強化するため、OSのアップグレードを行う。</p> <p>【対象】 マイナンバー利用事務系(315台)、LGWAN接続系(55台)で利用している業務端末370台</p> <p>【成果】 Windows10へのアップグレードを完了した業務端末台数370台</p>
光回線整備事業費	92,053	<p>◎ 光回線整備事業 92,053</p> <p>【目的】 光回線未整備地域(福吉地域、怡土地域)に光回線が利用できる環境を構築することにより、情報の格差を促進するとともに、携帯電話回線と併せて、通信手段の二重化を図る。</p> <p>【対象】 光回線未整備地域[福吉地域・怡土地域]</p> <p>【成果】 光回線の普及率99%</p>



主な事業(企画部 ブランド・学研都市推進課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
九州大学連携推進費	27,812	<p>◎ 組織対応型連携事業 2,088                      (国 1,044)                      (基金 1,044)</p> <p>【目的】                      九州大学と市が連携し共同研究を行うことで、課題解決、地域活性化、効率的かつ効果的な行政経営、九州大学学術研究都市の構築につなげる。</p> <p>【対象】                      九州大学研究者、市(行政)</p> <p>【成果】                      令和元年度実績 2件</p> <p>◎ 九大寺子屋事業 1,377                      (国 688)                      (基金 689)</p> <p>【目的】                      九大生が大学で学んでいることを児童に分かりやすく教え、交流することで、学習意欲の向上を図るとともに、九州大学や学生への憧れを醸成する。</p> <p>【対象】                      糸島市内の児童(小学校5年生)</p> <p>【成果】                      市内13小学校全28クラスに対して、44コマの授業を展開した(2クラスで2回実施した際「4」とカウント)。                      協力を受けた九大生は28名。</p> <p>◎ 九州大学サイエンスパーク実現化事業 990                      (国 495)                      (基金 495)</p> <p>【目的】                      九州大学の知的資源を生かし、研究シーズと社会ニーズを結び付け課題解決を図るとともに、研究者だけでなく地域住民や企業、学生などが交流できる場の創出などまちづくりを行い、学術研究都市を構築していく。</p> <p>【対象】                      九州大学関係者、市(行政)、市民、企業</p> <p>【成果】                      九州大学や民間企業、地元金融機関などの有識者による準備会議において、構想実現化に向けた事業方針や今後のスケジュール等を固めることができた。</p>
協定締結大学等 連携推進事業費	2,797	<p>◎ 協定締結大学等連携事業 2,797                      (国 1,398)                      (基金 1,399)</p> <p>【目的】                      協定大学等と市が持つ知的資源を活用し、共同研究を行うことで、課題解決、地域資源の掘り起こしを行う。</p> <p>【対象】                      協定大学等の研究者(九州大学、中村学園大学および短期大学部、西南学院大学、福岡医療専門学校、相模女子大学および短期大学部)、市(行政)</p> <p>【成果】                      令和元年度実績 4件</p>

主な事業(企画部 ブランド・学研都市推進課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
移住・定住 促進事業費	112,860	<p>◎ 子育て世代応援サイト“いとネット”運営事業 2,397 (国 1,198) (基金 1,199)</p> <p>【目的】 子育て世代をメインターゲットとしたサービス提供及び定住情報の発信を行うことで、本市への定住を促進する。</p> <p>【対象】 18歳以下の子どもを育てている人 子育てに関心のある18歳以上の人</p> <p>【成果】 令和元年度末時点 会員数6,985人、協賛店258店舗</p> <p>◎ 定住コーディネーター事業(共済費を除く) 4,788 (平成30年度～令和2年度) (国 2,392) (基金 2,396)</p> <p>【目的】 転入希望者に対し、定住支援嘱託員や地域コーディネーターによる地域情報の提供等を行うとともに、転入後にフォローを行うことで人口減少地域の定住とコミュニティの維持を図る。</p> <p>【対象】 本市への転入希望者 メインターゲット:福岡市西部・首都圏の子育て世代</p> <p>【成果】 定住コーディネーター事業による転入者の獲得、受け皿の確保 ・移住相談 68件 ・戸建て空き家の把握 約950件</p> <p>◎ マイホーム取得奨励金 98,914</p> <p>【目的】 人口を維持・増加させるには、人口の囲い込み競争(地域間競争)に競り勝つ必要がある。土地区画整理事業、九大移転と人口が大きく動く契機に、確実に人口を囲い込むため、住宅取得奨励金制度を期間を定めて実施する。</p> <p>【対象】 平成27年1月2日から平成31年3月31日までの間に新築又は売買により住宅を取得した人で、糸島市に定住する意思を持って対象住宅に居住し、糸島市の住民基本台帳に登録されている人</p> <p>【成果】 申請件数:609件、うち転入件数:374件、市内転居・建替:235件</p> <p>◎ ママライタースタートアップ事業 1,499 (平成29年度～令和元年度) (国 750)</p> <p>【目的】 場所にとらわれない就業形態ができるテレワークを推進するため、テレワークを活用して仕事を行うママライターの育成を行う。ライターとして収入を確保することによって都市部からの移住の促進策のひとつとする。</p> <p>【対象】 糸島市内の子育て世代の女性</p> <p>【成果】 子育て世代の女性10人が、ライティング技術の習得、テレワーカーとして仕事を受注できた。</p>

主な事業(企画部 ブランド・学研都市推進課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
移住・定住 促進事業費	112,860	<p>◎ 移住促進情報発信 3,777                      (令和元年度～令和3年度)                      (国 1,501)                      (基金 2,276)</p> <p>【目的】                      本市の定住関連施策等を効果的・積極的に発信することにより、                      移住地として選んでもらい、本市への移住・定住を推進する。</p> <p>【対象】                      本市への移住・定住希望者(メインターゲット:福岡市西部・首都圏                      の子育て世代)</p> <p>【成果】                      令和元年度転入者 4,336人</p>
その他企画費	29,075	<p>◎ いとしまブランド推進事業(広告掲載等事業) 4,538                      (平成29年度～令和元年度)                      (国 2,269)                      (基金 2,269)</p> <p>【目的】                      各メディアの取材等を通して、全国へ糸島市の認知度の向上、福                      岡都市圏へ糸島市の新たな過ごし方等を提案することで、観光客、                      交流人口、定住者を増やすとともに、市内事業者の利益向上へ繋                      げ市内経済の発展を目指す。</p> <p>【対象】                      糸島市民、糸島市内事業者</p> <p>【成果】                      テレビ放送:26本                      全国誌誌面掲載:264ページ</p> <p>◎ いとしまマーケティングモデル推進事業 1,100                      (平成29年度～令和元年度)                      (国 550)</p> <p>【目的】                      市内事業者のマーケティング力の向上、個別製品のブランド化</p> <p>【対象】                      市内事業者</p> <p>【成果】                      PRイベント開催:11回                      コンテスト受賞:6次産業化アワード(奨励賞)                      フードアクションニッポンアワード(入賞他)                      メディア掲載:11本(テレビ5本、新聞6本)</p> <p>◎ 地域課題共同調査研究事業 4,000</p> <p>【目的】                      第一次産業の維持発展方策について調査研究を行い、活力ある                      糸島市の将来に資する。(一般財団法人地方自治研究機構との共                      同研究)</p> <p>【対象】                      一次産業者</p> <p>【成果】                      令和2年2月に報告書を取りまとめて公表。併せて、関係各部に今                      後の施策資料として配布</p> <p>◎ マーケティング推進事業(共済費を除く) 7,194                      (令和元年度～令和4年度)</p> <p>【目的】                      ブランド糸島をビジネスチャンスとして生かすため、市内小規模事                      業者の商品開発・販路開拓を支援する体制を作る。</p> <p>【対象】                      市内加工事業者、市内農林水産事業者</p> <p>【成果】                      令和2年度以降の事業実施に向けた販路の確保</p>

主な事業(市民部 市民課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
戸籍住民基本台帳 関係費	96,660	<p>◎ 住記連携システム導入事業 5,400</p> <p>【目的】 従来は紙の情報により職員が手入力をしてきたが、情報データを戸籍の附票システムへ連携することで、手入力の必要がなくなり事務時間の短縮及び誤入力低減を図る。</p> <p>【対象】 本市に本籍がある方の戸籍の附票の入力。 転入、転居、住居表示実施、国外転出、職権消除等の住所に関する変更があった場合に「住所、住定日」を戸籍の附票に記録する。</p> <p>【成果】 正確で速い処理ができるようになった。 導入前と比較して、処理に要する時間が50%未満となった。</p> <p>◎ 窓口申請機器導入事業 1,744</p> <p>【目的】 コンビニ交付の利便性を体験してもらい、窓口の混雑緩和を目指す。また、マイナンバーカードの交付率向上につなげる。</p> <p>【対象】 マイナンバーカードを所持している住民</p> <p>【成果】 令和元年7月1日より稼働開始。 総合案内(記載案内)でマイナンバーカードを所持している申請者には窓口申請機器(らくらく証明)の案内を行い、実際に「らくらく証明」でコンビニ交付を体験してもらっている。</p>
住居表示整備事業費	9,922	<p>◎ 住居表示整備事業 9,242 (平成29年度～令和6年度)</p> <p>【目的】 住居表示の実施により住所をわかりやすくすることで、緊急車両等がスムーズに目的地に到達でき、また、郵便物の誤配達等を防ぐことで市民生活の利便性の向上を図る。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 荻浦一丁目～五丁目、神在東一丁目～五丁目(令和元年11月2日実施) 住居表示実施面積:79ha 住居表示実施率 :14.5% 平成30年度以降に実施した住居表示実施区域の面積:99ha 実施率:18.2%</p>

主な事業(市民部 収税課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
徴収関係費	6,137	<p>◎ 地方税共通納税システム対応事業 940                      〈平成30年度～令和元年度〉</p> <p>【目的】                      地方税共通納税システムの利用により、納税者(事業所)が電子納税をできるようになる。</p> <p>【対象】                      対象者・・・納税者(事業所)                      対象税目・・・法人市民税・個人住民税(特別徴収分・退職所得分)</p> <p>【成果】                      令和元年10月から地方税共通納税システムによる電子納税を開始。納付実績:296件(20,854千円)</p>

主な事業(市民部 生活環境課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
火葬場改修事業費	32,450  (職員人件費 (事業費支弁分) を含む額 33,250)	◎ 火葬場基幹的設備改良事業 32,450 〈令和元年度～令和7年度〉 (市債 29,900)  【目的】 火葬場の延命化 【対象】 市民 【成果】 基幹的設備改良工事の実施
埋立処分施設 管理運営費	25,789	◎ 清掃センター最終処分場浸出水放流管 布設事業 8,269  【目的】 糸島清掃センター最終処分場については、平成11年に埋立を終 了した後も水処理を継続しているが、水質が安定してきたことから、 放流管を布設し放流を実施するもの。 【対象】 市民 【成果】 令和元年度は、工事契約を締結。 工事施工は、令和2年4月～8月に実施する。

主な事業(人権福祉部 福祉支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
生活困窮者 自立支援事業費	35,525	<p>◎ 生活困窮者就労準備支援事業 〈令和元年度～令和3年度〉 13,084 (国 8,722)</p> <p>【目的】 一般就労に必要な基礎能力を形成するため、計画的・集中的な支援を行う。 また、従来の支援では一般就労につなげることが困難であった者に対しては、障がい者等への就労支援のノウハウを活用し、それぞれの対象者の有する課題や特性に応じた支援を行い、その人の状況に合わせた就労や福祉制度につなぐ。</p> <p>【対象】 ①生活リズムが崩れている、②社会との関わりに不安がある、③就労意欲が低いなどの理由で、就労に向けた準備が整っていない者</p> <p>【成果】 新規利用者:6人 新規に一般就労した者:2人</p> <p>◎ 生活困窮者自立相談支援事業 〈令和元年度～令和3年度〉 19,375 (国 13,875)</p> <p>【目的】 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対し、生活困窮者自身や周囲の人からの相談に応じ、各種制度や社会資源の活用を含めた様々な支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。</p> <p>【対象】 現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者(生活保護受給者以外の生活困窮者)</p> <p>【成果】 新規相談件数:273件 支援調整会議:12回実施</p> <p>◎ 生活困窮者家計改善支援事業 〈令和元年度～令和3年度〉 1,368 (国 912)</p> <p>【目的】 家計の見直しから生活再建を要する生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出した上で、自ら家計管理ができるように支援する。</p> <p>【対象】 家計から生活再建を考える必要のある生活困窮者</p> <p>【成果】 新規相談者数:41人 支援プラン件数:14件 家計の改善が図られた者:6人</p>

主な事業(人権福祉部 福祉支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
我が事・丸ごと地域づくり推進事業費	6,236	<p>◎ 我が事・丸ごと地域づくり推進事業 6,113 (国 4,584) (平成29年度～令和元年度)</p> <p>【目的】 本事業は、2つの事業で構成される(①地域力強化推進事業、②多機関の協働による包括的支援体制構築事業)。 ①の目的:地域共生社会の実現に向け、住民が主体的に地域課題を把握して解決する体制づくりを行うこと。 ②の目的:育児、障がい、貧困など複雑化・複合化した課題を包括的に受け止める市の総合的な支援体制づくりを行うこと。</p> <p>【対象】 福祉において複合的な課題を有する市民</p> <p>【成果】 糸島市社会福祉協議会に事業委託を行っている。 ・地域ささえあい会議の設置 12校区に設置 (累計15校区の内14校区) ・CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)の配置。 相談件数56件、解決件数46件、連携件数35件。 ・我が事・丸ごと研究大会の開催(参加者:74人)</p>
その他社会福祉総務費	5,514	<p>◎ 市民後見推進事業 1,425 (県 1,425) (令和元年度～令和3年度)</p> <p>【目的】 認知症、知的障害、精神障害等で、判断能力が十分でない方を支援するために、市民後見人を養成し、支援体制を構築する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 市民後見人養成講座を5回(25時間)開催し、受講者30人、その内28人に修了証を渡した。</p>
障害児福祉サービス事業費	360,451	<p>◎ 幼児教育・保育無償化対応事業 880 (国 815)</p> <p>【目的】 システム改修により無償化事務に対応する。</p> <p>【対象】 幼児教育・保育無償化の対象となる児童</p> <p>【成果】 システム改修により、遅滞なく無償化事務をスタートさせた。 対象者:13名</p>



主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
保育所等関係費	228,053	<p>◎ 民間保育所施設整備事業 221,589                      (国 196,968)                      (基金 24,621)</p> <p>【目的】                      国の保育所等整備交付金を活用し、保育所等の施設整備を実施する。</p> <p>【対象】                      市内の私立保育所等</p> <p>【成果】                      とまりの森保育園(定員160名)を新設。</p>
児童健全育成 推進事業費	18,159	<p>◎ 子育て短期支援事業 50                      (国 25)</p> <p>【目的】                      児童虐待対策事業であり、保護者の疾病等で養育ができない児童を一定期間預かり、当該児童の養育等を確保する。</p> <p>【対象】                      市内に住所を有する児童</p> <p>【成果】                      短期入所生活援助(ショートステイ)事業、夜間養護等(トワイライト)事業において相談1件あるも利用なし。</p> <p>◎ ファミリー・サポート・センター事業 4,358                      (国 1,452)                      (県 1,452)</p> <p>【目的】                      地域において育児の援助を行いたい者(以下「サポート会員」という。)と、育児の支援を受けたい者(以下「おねがい会員」という。)を組織化し、会員同士が相互援助活動を行うことにより、子育てと仕事を両立できる環境を整備する。</p> <p>【対象】                      ・糸島市在住または市内に勤務している方で、おおむね生後3カ月から小学6年生までのお子さんがいる方                      ・糸島市在住で20歳以上の方(サポートのための講習会を受講した方)                      ＊いずれも会員の登録が必要。</p> <p>【成果】                      おねがい会員216人、サポート会員66人、どっちも会員9人                      計291人 相互援助活動数331件</p> <p>◎ 子育て世代包括支援センター開設準備事業 3,465                      (国 1,155)                      (県 1,155)</p> <p>【目的】                      妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の令和2年度開設に向けて、母子保健と子育て支援のデータを一元化する等のシステム改修等を行う。</p> <p>【対象】                      妊産婦及び乳幼児とその家族</p> <p>【成果】                      糸島市在住の妊産婦及び乳幼児情報などの一元化や、子育て世代包括支援に係る妊産婦・子育て期の支援プランの作成機能を有するシステム改修等が完了。</p>

主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
子ども・子育て支援事業費	3,266,801	<p>◎ 地域型給付事業(小規模保育事業所分) 46,880  <small>(国 24,885)  (県 10,098)  (基金 10,502)</small></p> <p>【目的】  保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、小規模保育事業所において保育を提供する。0～2歳児の保育の受け皿となっている。</p> <p>【対象】  小規模保育事業所 1園  (受益者:保育を必要とする児童及びその保護者)</p> <p>【成果】  ・平成30年4月に小規模保育事業所「りんでんの家」開設(定員19人)  ・平成31年3月末時点の入所児童21人  ・令和2年3月末時点の入所児童21人  ※りんでんの家開設以降、定員以上の受入れが続いている。</p> <p>◎ 幼児教育・保育無償化対応事業 6,380  <small>(県 6,380)</small></p> <p>【目的】  令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に対応するためシステム改修を行い、円滑に無償化業務をスタートさせる。</p> <p>【対象】  幼児教育・保育無償化の対象となる児童の保護者</p> <p>【成果】  システム改修等により、無償化業務を遅滞なくスタートさせた。</p>
待機児童緊急対策事業費	9,820	<p>◎ 私立保育所等保育士確保緊急対策事業 5,353</p> <p>【目的】  平成31年4月の待機児童数が急増したことに対する緊急対策。  全国的な保育士不足により、保育所等の自助努力だけでは保育士確保が困難な状況となり、待機児童急増の要因の一つとなっていたため、市内保育所等が派遣保育士を雇用する際の経費の一部を補助し、保育士確保を支援することで、入所児童数を増加させ、待機児童の解消を図るもの。</p> <p>【対象】  市内の私立保育所、認定こども園、小規模保育事業所</p> <p>【成果】  補助金活用:5園、実質年間人員:5.42人</p> <p>◎ 保育人材確保事業 4,467</p> <p>【目的】  全国的に保育士等の人材不足が課題となっている状況の中、市内保育所等における保育人材を確保する。</p> <p>【対象】  保育士資格所持者、保育士資格取得見込み者</p> <p>【成果】  就職・転職フェア及び保育所見学バスツアーの開催により、保育士9人(正職6人、パート3人)を就職につなげることができた。</p>

主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
子ども医療対策費	269,556	<p>◎ 子ども医療費助成拡充事業 11,532 (基金 11,532)</p> <p>【目的】 子ども医療費において、助成対象を中学生の通院まで拡大するとともに、所得制限を廃止することで、義務教育までのすべての子どもが安心して医療機関を受診できるようにし、重症化の防止につなげる。</p> <p>【対象】 市内在住中学生及び所得超過世帯</p> <p>【成果】 令和元年10月診療分から、中学生約2,240人の通院助成につながった。また、これまで所得超過で子ども医療助成を受けられなかった世帯も助成を受けられるようになった。</p> <p>◎ 子ども医療費助成拡充事業(システム改修) 3,024</p> <p>【目的】 子ども医療費において、助成対象を中学生の通院まで拡大するとともに、所得制限を廃止することで、義務教育までのすべての子どもが安心して医療機関を受診できるようにし、重症化の防止につなげる。そのために必要な事務を確実かつ円滑に実施するため、システム改修を実施。</p> <p>【対象】 市内在住中学生及び所得超過世帯</p> <p>【成果】 令和元年10月診療分から、中学生約2,240人の通院助成につながった。また、これまで所得超過で子ども医療助成を受けられなかった世帯も助成を受けられるようになった。</p>
放課後児童クラブ整備事業費	19,487	<p>◎ 波多江放課後児童クラブ整備事業 14,601 (国 4,176) (県 4,176) (市債 4,700) (基金 1,549)</p> <p>【目的】 波多江2放課後児童クラブに玄関、事務室、トイレ等を新たに整備することで、波多江2放課後児童クラブを独立した施設として利用できるようにし、児童の安全で快適な保育環境を確保する。</p> <p>【対象】 波多江2放課後児童クラブに入所する児童及びそこに勤務する支援員等</p> <p>【成果】 これまで波多江1と波多江2の児童クラブが同じ玄関、事務室、トイレを利用していたが、別々の独立した施設として利用できるようになり、児童の安全で快適な保育環境の確保につながった。</p> <p>◎ 加布里放課後児童クラブ整備事業 4,886 (国 3,100) (県 775) (市債 800) (基金 211)</p> <p>【目的】 同じ建物内にある外倉庫部分を保育室に改築することで、保育室の混雑緩和及びトイレの増設等を実現し、児童の安全で快適な保育環境を確保する。</p> <p>【対象】 加布里放課後児童クラブに入所する児童及びそこで勤務する支援員等</p> <p>【成果】 約16人分の保育スペース(27㎡)を確保するとともに、トイレの増設が実現したことで保育環境が改善した。</p>

主な事業(人権福祉部 人権・男女共同参画推進課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
男女共同参画社会 推進事業費	10,431	<p>◎ 女性が輝くミライ事業 929 (国 403) 〈平成29年度～令和元年度〉</p> <p>【目的】 男女共同参画社会の推進に必要なジェンダーの視点を啓発し、社会人として自立し「生きる力」を育成する。 また、講座を開催し、就職を希望する女性を支援する。</p> <p>【対象】 市民(小学生、中学生、就職を希望する女性)</p> <p>【成果】 小中学生用の啓発冊子配布数:3,270冊 キャリア教育出前講座 開催数:8回 受講者数:1,433人 就職支援講座 開催数:22回 受講者数:253人</p> <p>◎ 自治会の男女共同参画促進事業 965 (国 483) 〈令和元年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 行政区(自治会)役員の女性登用を進める。</p> <p>【対象】 糸島市民</p> <p>【成果】 行政区の担い手づくりガイドブック配布数:4,072冊 研修会 開催数:4回 受講者数:163人</p>
人権啓発事業費	3,650	<p>◎ 人権擁護推進事業(性的マイノリティ支援事業) 1,187 (県 772) 〈令和元年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 性的少数者(LGBT等)とされる人は、統計で人口の約5%程度存在すると言われる。人権啓発の観点から、性的少数者が差別的言動を受けることがないよう市民への啓発を行うもの。</p> <p>【対象】 糸島市民</p> <p>【成果】 ・性的少数者である当事者を講師に招き、6月1日に講演会を開催 受講者数125人 ・市役所全職員(会計年度職員含む)に対し、「性的少数者に対する配慮等を示したハンドブック(職員用)」を配布、説明。配布数513冊 ・上記ハンドブック監修者を講師に招き、「性の多様性」に係る職員研修を実施。受講者数270人 ・上記ハンドブック(市民用)を人権関係団体及び希望する学校に対し、配布。配布数700冊 ・上記ハンドブックのダイジェスト版を作成し、各校区、行政区及び企業での研修会にて配布、説明。作成数12,000冊、配布数5,160冊</p>

主な事業(健康増進部 健康づくり課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
特別会計関係費	1,093,813	<p>◎ 国民健康保険事業(健康づくり課) 3,815 (令和元年度～令和3年度)</p> <p>【目的】 内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)に着目した生活習慣病予防対策の一環で、糖尿病・高血圧・脂質異常症(高脂血症)など生活習慣病の早期発見、予防。</p> <p>【対象】 40～74歳の国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査を受診した課税世帯の人。</p> <p>【成果】 40～74歳の国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査を受診した課税世帯の人:3,815人</p>
健康増進事業費	70,925	<p>◎ 胃がんリスク検査事業 491 (平成30年度～令和2年度) (基金 379)</p> <p>【目的】 胃がんのリスクを断層化する検査を実施することで、将来の胃がん発症を予防し、胃がんによる死亡減少を図り、市民の健康寿命の延伸を図る。</p> <p>【対象】 市民(年度末40歳年齢のみ)</p> <p>【成果】 112人の検査を実施した。</p>
母子保健事業費	93,940	<p>◎ 母子保健情報連携システム改修事業 1,386 (国 841)</p> <p>【目的】 母子保健情報の利活用を推進するため、乳幼児健診、妊婦健診及び定期予防接種の情報を提供する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 令和2年6月から自治体中間サーバーを介して、母子保健情報連携及びマイナポータルでの自己情報の閲覧を開始した。</p> <p>◎ 子育て世代包括支援センター(母子保健型) 3,529 開設準備事業 (国 1,200) (県 1,176)</p> <p>【目的】 妊娠・出産・産後から子育て期にわたるまでの、切れ目のない相談支援及び妊産婦のサポートをする相談支援拠点として、「子育て世代包括支援センター」を健康福祉センターあごら内に新設するための準備を行う。</p> <p>【対象】 妊産婦、子育て期の親子</p> <p>【成果】 「健康福祉センターあごら」の改修・環境整備を完了し、令和2年4月から子育て世代包括支援センターを開設、運営を開始した。</p>

主な事業(健康増進部 健康づくり課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
予防接種事業費	263,336	<p>◎ 風しん追加的対策事業 5,276                      〈令和元年度～令和3年度〉 (国 3,006)</p> <p>【目的】                      風しんの発生及びまん延を予防するためには、可及的速やかに抗体保有率が低い世代の男性の抗体保有率を上昇させる必要があることから、令和4年3月31日までの時限措置として定期接種を行うもの。</p> <p>【対象】                      昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性 11,000人</p> <p>【成果】                      5,000人中 抗体検査受検者674人、予防接種者129人</p>
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	4,812	<p>◎ 小学校区単位での健康づくり活動推進事業 2,763                      (ヤングシニア分) (国 1,382)                      〈平成28年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】                      地区担当保健師と地域住民が協働で健康づくりを実施する体制を進め、より身近な校区単位で市民が健康づくりを実践することができる環境をつくり、生活習慣病対策を強化することで市民の健康寿命の延伸を図る。</p> <p>【対象】                      市民</p> <p>【成果】                      校区健康づくり講座(公民館との共同実施含む)                      :実施校区 14/15校区、延べ参加者数 74人                      地域活動団体支援:団体数 6団体、延参加者数 167人                      校区避難所運営訓練への参加:4校区                      地域ケア会議出席:19回</p> <p>◎ 働く世代の健康づくり事業(ヤングシニア生きいき分) 1,648                      (国 824)                      〈平成29年度～令和元年度〉 (基金 824)</p> <p>【目的】                      中壮年期からの運動習慣の確立、生活習慣病予防の取組みを展開することで、健康寿命の延伸及び介護予防を図ることを目的とする。</p> <p>【対象】                      概ね40歳～60歳の市民</p> <p>【成果】                      13クール開催、実参加者数 162人</p>

主な事業(健康増進部 介護・高齢者支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	18,025	<p>◎ 運動指導事業(ヤングシニア生きいき分) 6,284 (平成29年度～令和2年度) (国 3,142)</p> <p>【目的】 ヤングシニア層(60～70歳代)の健康寿命の延伸 個人で健康づくり、筋力維持をしたい人のための環境整備 健康づくりの気運を高める</p> <p>【対象】 ヤングシニア層(60～70歳代)</p> <p>【成果】 健康福祉センターにトレーニング機器の配置を継続。(あごら;エアロバイク5台、歩行運動機械器具3台、ふれあい;エアロバイク5台) 健康福祉センターあごら及びふれあいで、スタートアップ教室を開催。 ・教室開催数:あごら310回、ふれあい78回、合計388回 ・のべ参加者数:あごら3,820人、ふれあい1,842人、合計5,662人 ・実参加者数:あごら1,243人、ふれあい554人、合計1,797人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月下旬から事業中止</p> <p>◎ 介護予防センター活性化事業(ヤングシニア生きいき分) 1,148 (平成29年度～令和2年度) (国 574)</p> <p>【目的】 ・介護予防センターの活性化 喫茶室の有効活用、高齢者の閉じこもり防止 ヤングシニア世代の生きがいづくり 高齢者の食生活改善のきっかけづくり</p> <p>・ボランティア活動推進 ヤングシニアがボランティアとして活動できる場を増やす ボランティアが企画・実施する事業に参加できる場を増やす</p> <p>【対象】 ヤングシニア層(60～70歳代)</p> <p>【成果】 ・喫茶室を活用した「いとゴン食堂」で3,811食を提供。(食生活改善推進会へ委託) ・体操とレクレーション等を行う「スポレク広場」をボランティアスタッフが実施。(計39回開催、延べ376人の参加者。) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月は実施できなかった。</p>

主な事業(健康増進部 介護・高齢者支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	18,025	<p>◎ 健康支援プログラム研究開発事業(ヤングシニア生きいき分) <span style="float:right">6,000</span>  <small>(国 3,000)</small>  <small>(基金 3,000)</small>                      〈平成29年度～令和2年度〉</p> <p><b>【目的】</b>                      ・ヤングシニア層(60～70歳代)の健康寿命の延伸                      ・フレイル(高齢で筋力・活力が衰えた状態)やサルコペニア(筋肉減少症)に対するスクリーニング方法の開発                      ・スクリーニング及び予防の取り組みを継続的に実施できる方法を普及し、フレイル等の予防を図る</p> <p><b>【対象】</b>                      ヤングシニア層(60～70歳代)</p> <p><b>【成果】</b>                      ・令和元年10月までフレイル予防教室を開催し、被験者のデータ分析を実施。                      ・令和元年11月より教室参加者の自主活動グループ化を支援(自主活動参加者数102人)。                      ・九州大学歯学研究院の参画を得て、オーラルフレイルの研究を開始(53人の被験者が協力)。</p> <p>◎ 高齢者生活・健康調査事業(ヤングシニア生きいき分) <span style="float:right">2,490</span>  <small>(国 1,236)</small>  <small>(基金 1,254)</small>                      〈平成29年度～令和2年度〉</p> <p><b>【目的】</b>                      ・ヤングシニア層(60～70歳代)の健康寿命の延伸                      ・ヤングシニア層の実態把握、現状分析                      ・活動に取り組むきっかけづくり                      ・生きがいつくりの気運を高める</p> <p><b>【対象】</b>                      65歳以上の糸島市民(要介護認定者を除く)4,996人</p> <p><b>【成果】</b>                      ・有効回答数:2,845人(有効回収率56.9%)                      ・令和2年3月調査結果報告書提出を受け、現状分析を行う予定</p> <p>◎ シニアクラブ元気化事業(ヤングシニア生きいき分) <span style="float:right">2,103</span>  <small>(国 1,051)</small>                      〈平成29年度～令和2年度〉</p> <p><b>【目的】</b>                      シニアクラブの組織強化及び活動の活性化の取組を行う事務局職員を常駐化し、また、サークル活動を活性化し高齢者の生きがいつくり、仲間づくりを推進する。</p> <p><b>【対象】</b>                      糸島市シニアクラブ連合会</p> <p><b>【成果】</b>                      ・糸島市シニアクラブ連合会加入クラブ数 107クラブ(増減なし)                      会員数 5,909人(対前年度比 25人減)                      ・新規サークル立上げ数 21サークル(合計165サークル)                      サークル活動参加者 3,290人(対前年度比 273人増)</p>



主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
耕作放棄地対策事業費	2,200	<p>◎ 耕作放棄地対策事業 1,299                      〈平成30年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】                      農地の有効利用を図るため、耕作放棄地の再生利用の取組を支援する。</p> <p>【対象】                      農業者</p> <p>【成果】                      補助金交付件数 11件                      耕作放棄地の再生件数 6件                      耕作放棄地の再生面積 1.7ha</p>
農用地利用関係費	862	<p>◎ 農地中間管理機構集積協力金交付事業 395                      〈令和元年度～令和3年度〉 (県395)</p> <p>【目的】                      農地の利用の効率化と農業の生産向上を図るため、担い手へ農地の集積と集約を図る。</p> <p>【対象】                      農地中間管理機構を通じて農地の集積・集約化に協力した者</p> <p>【成果】                      経営転換協力金                      ・交付対象面積 263a                      ・交付金額 394,500円                      ・交付対象者 4戸                      地域集積協力金 該当なし</p>
地域農政推進事業費	6,595	<p>◎ 福吉地域元気づくり事業 3,322                      〈平成29年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】                      地域の所得・産業・人口の増加                      6次産業化や営農効率化・確保、定住促進、観光交流の推進</p> <p>【対象】                      福ふくの里を拠点とした福吉地域(福吉地域づくり推進協議会)</p> <p>【成果】                      ・地域内新聞の作成(年2回)                      ・宿泊体験事業(年2回)                      ・市の移住イベント(東京)にて講演</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
地域農政推進事業費	6,595	<p>◎ 糸島キッズファーム事業 2,285                      〈令和元年度～令和3年度〉 (国 500)</p> <p>【目的】                      本市において、子どもを主たる対象とする農業体験等を通じ、グリーンツーリズムの発展に資する事業を実施する事業者を支援することにより、地域の活性化を図る。</p> <p>【対象】                      子どもやその保護者を対象とした以下の項目すべてに資する農業体験等を実施する事業者のうち、事業開始から3年間の実施計画が認定された者</p> <p>①グリーンツーリズムの推進                      ②運営への高齢者・農業者の参画                      ③耕作放棄地の解消</p> <p>【成果】                      農業体験等実施回数 8回                      参加者数:子ども131人、大人117人、合計248人</p>
新規就農者支援事業費	39,624	<p>◎ 農業次世代人材投資事業 39,615                      〈令和元年度～令和3年度〉 (県 39,615)</p> <p>【目的】                      新規就農者の経営が不安定な就農直後(5年間)について、資金面での生活基盤を確保する。</p> <p>【対象】                      独立自営就農を目指す50歳未満の者</p> <p>【成果】                      33経営体に対し、39,614,896円を交付。</p>
担い手育成対策事業費	21,107	<p>◎ 担い手農家支援事業 20,901                      〈平成30年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】                      小規模農家、高齢農家等を含む農業者の生産コスト削減の支援や農業に係る課題解決の調査研究等の支援を行うことにより、所得の向上、規模拡大、営農継続につなげ、糸島農業の担い手の確保と耕作放棄地の発生防止を図る。</p> <p>【対象】                      農産物を販売し(予定含む)、所得向上等を目標とする農業者・団体</p> <p>【成果】                      交付件数62件、事業費60,700,368円、補助金20,901,000円</p>
中山間地域対策事業費	37,134	<p>◎ 中山間地域等直接支払事業 36,997                      〈平成27年度～令和元年度〉 (県 25,723)</p> <p>【目的】                      中山間地域の多面的な機能を維持するために、集落で取組む農業生産活動に対する直接的な支援。</p> <p>【対象】                      農業者団体(集落組織)</p> <p>【成果】                      耕作放棄地増大の抑制                      ・取組集落18集落(協定参加者 386人)                      ・交付対象面積215.0ha                      ・交付額36,997,074円</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
環境保全型農業 直接支援対策事業費	4,622	<p>◎ 環境保全型農業直接支援対策事業 〈平成27年度～令和元年度〉 4,622 (県 3,466)</p> <p>【目的】 温暖化防止及び生物の生育環境の保全の促進及び化学肥料・農薬の低減により、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮</p> <p>【対象】 農業者団体(国際水準GAPを実施する農家で構成された有機農業の取組みを行うグループ)</p> <p>【成果】 5団体(26人)66.95haの取組み</p>
その他農業振興費	1,397	<p>◎ 直売所活性化事業 〈平成30年度～令和2年度〉 1,218 (国 609)</p> <p>【目的】 直売所施設の充実やイベント等の開催を支援することで、糸島産農林水産物の魅力を発信する場である直売所の活性化を推進する。</p> <p>【対象】 市内の複数の農林水産業者が出荷した糸島産の農林水産物及びその加工品を中心に組織的に共同で販売する有人の施設で、年間を通じて開設しているもの(直売所)</p> <p>【成果】 8件:1,218,000円</p>
高収益型園芸 農業関係費	101,075	<p>◎ 活力ある高収益型園芸産地育成事業 〈令和元年度～令和3年度〉 101,075 (県 101,075)</p> <p>【目的】 園芸農業の生産額を増大し、持続的発展を図る。また、省エネルギー化推進、雇用型経営支援、6次産業化推進による規模拡大及び経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 農業協同組合、認定農業者、営農集団等</p> <p>【成果】 11件(受益31戸24.59ha)に101,075,000円(県費)を補助。(総事業費:224,545,774円)</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
生産振興対策関係費	38,665	<p>◎ 博多和牛ブランド強化対策事業 1,728                      (平成29年度～令和元年度) (県 1,728)</p> <p>【目的】                      「博多和牛」を県産ブランド牛肉としての地位を確立する。</p> <p>【対象】                      農業協同組合(受益者:博多和牛生産登録者及び和牛改良組合構成員)</p> <p>【成果】</p> <p>①博多和牛子牛確保対策:4経営体に助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象頭数 19頭</li> <li>・事業費 14,851,837円</li> <li>・補助金額 988,000円</li> </ul> <p>②ブランドイメージ確立対策:8経営体に助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象頭数 74頭/回</li> <li>・事業費 1,197,827円</li> <li>・助成金額 740,000円</li> </ul> <p>◎ ふくおかの畜産競争力強化対策事業 11,937                      (令和元年度～令和3年度) (県 11,937)</p> <p>【目的】                      規模拡大を行う担い手畜産農家が整備する機械・施設等に対し、補助金を交付することにより、畜産経営の安定化を図る。</p> <p>【対象】                      認定農業者、営農集団等</p> <p>【成果】</p> <p>生産拡大対策 3経営体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 31,410,563円</li> <li>稲発酵粗飼料専用収穫機、ラップマシーン 18,252,000円</li> <li>飼料運搬機 5,555,000円</li> <li>ストール、マット、飼槽改修 7,603,563円</li> </ul> <p>・補助金額 11,937,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲発酵粗飼料専用収穫機、ラップマシーン 7,950,000円</li> <li>飼料運搬機 1,683,000円</li> <li>ストール、マット、飼槽改修 2,304,000円</li> </ul> <p>◎ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 25,000                      (県 25,000)</p> <p>【目的】                      地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体が行う、収益力強化等に必要施設整備への支援</p> <p>【対象】                      畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組主体 養豚 1経営体</li> <li>事業内容 汚水処理施設改修</li> <li>総事業費 55,000,000円</li> <li>補助金 25,000,000円</li> </ul>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
畜産環境対策事業費	1,703	<p>◎ ASF侵入防止緊急支援事業 1,703                      〈令和元年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】                      アジア地域で急速に拡大するASF(アフリカ豚熱)の、糸島市内養豚農場への侵入を防止する体制の確保を行い、畜産物の安定供給を図る。</p> <p>【対象】                      養豚業を営む生産者(3戸以上)で構成される生産者集団(受益者:養豚業者)</p> <p>【成果】                      申請:2協議会(取組養豚業者計9経営体)(令和元年度中に事業完了した経営体4経営体)                      事業費:39,988,960円(令和元年度中に完了した事業費15,853,200円)                      補助金 4,240,000円(令和元年度中に交付した補助金額1,703,000円)                      ※令和2年度に繰越</p>
普通作振興費	14,053	<p>◎ 水田農業担い手機械導入支援事業 13,921                      〈令和元年度～令和3年度〉 (県9,280)</p> <p>【目的】                      米・麦・大豆づくりと併せ、生産コスト低減に取り組む担い手農家を育成するとともに、地域農業の担い手としての経営の安定を図る。</p> <p>【対象】                      集落営農組織、認定農業者等</p> <p>【成果】                      新規事業実施主体数:4件(トラクター2台、ブームスプレイヤー1台ほか)                      うち生産コスト低減実施主体数:4件</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
鳥獣被害防止対策事業費	6,129	<p>◎ 鳥獣被害防止対策事業 3,428</p> <p>【目的】 市内で発生する有害鳥獣による生活環境被害、農作物被害を減少させる。</p> <p>【対象】 鳥獣被害が発生する地域の農業者、住民の方</p> <p>【成果】 令和元年度は、イノシシ1,173頭、アナグマ54頭、アライグマ45頭、サル11頭を捕獲した。</p>
農業施設整備事業費	71,497	<p>◎ 農業施設整備事業(農村環境整備事業) 13,940 (県 5,441)</p> <p>【目的】 農村生活環境の改善のため、溜池及び農業用排水路等の農業用施設の整備改善を行う。</p> <p>【対象】 農業者(農業用施設利用受益者)</p> <p>【成果】 整備実施箇所 5箇所 ・井堰改良工事 4箇所 ・水路改工事 1箇所</p> <p>◎ 農業施設整備市単独事業 15,583</p> <p>【目的】 農業生産者の高齢化や、近年の集中豪雨に対し、安全に作業ができるように、水路及び板堰等の改良を行う。</p> <p>【対象】 農業者(農業用施設利用受益者)</p> <p>【成果】 整備実施箇所 20箇所</p> <p>◎ ため池防災対策事業 3,942</p> <p>【目的】 ため池施設の老朽化や近年の集中豪雨に対し、安全に施設が利用できるように改修工事を実施する。</p> <p>【対象】 農業者(ため池利用受益者)及びため池周辺住民の方</p> <p>【成果】 ため池整備実施箇所 1箇所</p> <p>◎ ため池耐震調査事業 38,018 (平成29年度～令和元年度) (県 38,018)</p> <p>【目的】 近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し、大きな被害が生じていることを踏まえ、大規模地震に備えた調査が必要である。</p> <p>【対象】 糸島市内にある農業ため池のうち、H25、26年度に県営ため池一斉点検を実施した。点検結果より、詳細な調査が必要な溜池、整備時期不明、民家等へ影響があるため池などの38箇所が対象。</p> <p>【成果】 耐震調査実施箇所 6箇所</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
土地改良事業関係費	68,213	<p>◎ 市営土地改良事業 1,422</p> <p>【目的】 耐用年数経過した大型農業用施設の更新には工事費がかかるため、補助事業を活用し整備を実施する。</p> <p>【対象】 農業者(農業用施設利用者)</p> <p>【成果】 適正化事業 4地区(負担金支出)</p> <p>◎ 県営土地改良事業(ほ場整備) 35,971 (市債 31,400)</p> <p>【目的】 将来の農業を担う経営体(担い手等)を育成するため、農業生産基盤の整備を一体的に行い、高生産農業の多面的機能を十分に発揮させ、食料自給率の向上及び農業経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 地区内の土地所有者及び耕作者</p> <p>【成果】 一部工事を実施した。</p>
県営農地防災事業費	10,645	<p>◎ 県営農地防災事業(県営事業) 10,645 (市債 8,000)</p> <p>【目的】 井堰施設や溜池の整備により、農用地、農業用施設の災害の発生を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 農業用施設管理者、及び受益者</p> <p>【成果】 井堰は事業申請や実施設計業務、溜池は調査基本設計や一部工事を実施した。</p>
農業基盤整備促進事業費	22,628	<p>◎ 農地耕作条件改善事業 22,628 (県 15,540)</p> <p>【目的】 生産効率を高め競争力のある「攻めの農業」を実現するために、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を行い、担い手への農地集積を加速化させる。</p> <p>【対象】 農業者</p> <p>【成果】 令和元年度に12.31haの基盤整備を実施した。</p>
農業水利施設等整備事業費	98,545	<p>◎ 県営排水施設整備事業 88,205 (市債 35,800)</p> <p>【目的】 県営土地改良事業により築造された施設(排水機場、井堰、基幹水路等)の有効利用(延命化)を図る。農業用水利施設の整備を推進し、水利用の効率化、省力化、安全性向上を図る。</p> <p>【対象】 農業者(施設受益地の所有者及び耕作者)</p> <p>【成果】 深江、荻浦、一貴山排水機場 事業費275,041千円 負担額80,262千円</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
多面的機能支払交付金事業費	148,318	<p>◎ 多面的機能支払交付金事業 147,222 (県 110,416) (基金 36,806)</p> <p>【目的】 近年の農業は、農村の高齢化や混住化が進行し、農地や農業用水等の資源をこれまでどおり適切に保全管理していくことが困難になってきている。そのため、地域住民が一体となって農地や農業用水等の資源を環境や景観に配慮しながら保全管理していく。</p> <p>【対象】 農地及び農業用水等の施設を管理する組織</p> <p>【成果】 令和元年度は80組織に実施した。</p>
水源保全基金運営事業費	2,616	<p>◎ 水源保全基金運営事業 2,616 (基金 2,616)</p> <p>【目的】 糸島市の水源の保全及び森林の公益的機能である水源かん養機能の向上を目的として、水源地の森林整備や山の大切さを市民に理解していただくための啓発事業などを実施する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 瑞梅寺ダム流域の水源地の森林整備を実施 ・森林整備(竹転や下草刈りなど) 6.44ha 水や森林の大切さについて、広く市民に理解を求めため、植樹(白糸)を実施した(植樹祭は中止)。</p>
広域基幹林道開設事業費	8,251	<p>◎ 広域基幹林道開設事業(地方創生道整備交付金) 28 (県 28)</p> <p>【目的】 森林の保全並びに林業施業の省力化を図るため、広域基幹林道を軸とした林道のネットワーク化を推進する。</p> <p>【対象】 林業従事者</p> <p>【成果】 県営林道開設事業による第3雷山浮嶽線の開設工事、林道工事に係る立木補償などを実施した。</p> <p>◎ 広域基幹林道開設事業(地域活性化事業) 7,730 (県 212) (市債 6,400)</p> <p>【目的】 森林の保全並びに林業施業の省力化を図るため、広域基幹林道を軸とした林道のネットワーク化を推進する。</p> <p>【対象】 林業従事者</p> <p>【成果】 県営林道開設事業による第3雷山浮嶽線の開設工事、完成した林道用地の測量・購入、林道工事に係る立木補償などを実施した。</p>



主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
林道新設改良事業費  (職員人件費 (事業費支弁分) を含む額 28,220)	27,020	<p>◎ 林道改良事業 5,019 (県 2,006) (市債 2,700)</p> <p>【目的】 林道一の原線は、森林施業に多く利用されているが、未舗装部分が半分あり降雨時は路面浸食により通行に支障が生じるため、舗装工事を行う。 【対象】 林業従事者 【成果】 未舗装部分の舗装工事(工事長L=259.0m)を実施した。</p> <p>◎ 林業専用道整備事業 22,001 (県 9,692) (市債 10,900)</p> <p>【目的】 間伐材の有効利用による森林保全を実行するため、木材輸送機能を強化する林業専用道を整備し、効率的な木材の搬出を促進し林業生産性の向上を図る。 【対象】 森林整備施業者 【成果】 林業専用道の作設工事(L=300.0m)を実施した。</p>
森林病虫害防除事業費	8,292	<p>◎ 松林保全アダプト事業 2,859</p> <p>【目的】 市有林及び国有林の松林を対象に、アダプト制度を活用して草刈・清掃を行い、市民協働で松林の保全活動を促進し白砂青松を再生する。 【対象】 市民や地元団体、企業団体など 【成果】 松林アダプト制度に14団体が登録され、松林の清掃・美化活動が実施された。</p>
森林再生プロジェクト事業費	16,304	<p>◎ 森林再生プロジェクト事業 10,054 (基金 10,054)</p> <p>【目的】 主伐や間伐による木材の搬出・集荷・供給のしくみの構築及び植林・育林・除伐・間伐・主伐の森林施業サイクルの復活により、働く場の確保と林業従事者の所得向上を図り、林業振興と森林保全に寄与する。 【対象】 山林所有者、林業従事者 【成果】 貯木場「伊都山燦」の運営や森林経営計画による森林整備等の事業を実施した。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
森林再生プロジェクト事業費	16,304	<p>◎ 林業成長産業化地域創出モデル事業 6,250 (県 6,250)</p> <p>【目的】 市内及び周辺で森林資源の循環利用を図る木材のサプライチェーンを構築すると共にICTを活用した木材サプライチェーンマネジメントシステムにより定着化を図り、林業の成長産業化による地域の活性化を図る。</p> <p>【対象】 森林所有者、林業従事者</p> <p>【成果】 糸島山づくり協議会を4回開催した。 糸島市伐採・搬出・再造林ガイドラインを作成した。 糸島産材使用住宅が7棟が建築された。</p>
その他林業振興費	6,348	<p>◎ 竹林整備促進事業 12</p> <p>【目的】 竹を法面保護材等として活用することにより、竹林の整備を促進する。</p> <p>【対象】 市内の竹林整備を実施する市民</p> <p>【成果】 竹粉生産事業者が買い取る竹の価格に、商品券の上乗せ交付を実施された。</p>
森林整備事業費	103,086	<p>◎ 森林整備事業 429 (基金 429)</p> <p>【目的】 間伐等による森林整備を行うことにより、森林環境の向上を図り、水源涵養機能等の多面的機能も高める。</p> <p>【対象】 森林所有者</p> <p>【成果】 間伐面積 4.37ha</p> <p>◎ 荒廃森林整備事業 100,000 (県 100,000)</p> <p>【目的】 荒廃した森林を再生し、環境の優れた森として保全する。</p> <p>【対象】 市民及び森林所有者</p> <p>【成果】 森林整備 60.18ha、荒廃森林調査 837.64haを実施した。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
森林整備事業費	103,086	<p>◎ 森林・山村多面的機能発揮対策事業 997</p> <p>【目的】 林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が行われていない箇所が見られており、地域住民等による森林の保全管理活動等の取組を支援する。</p> <p>【対象】 森林・山村多面的機能発揮対策事業に取り組む市民</p> <p>【成果】 里山琳景観を維持するための活動や侵入竹の伐採・除去などの活動に、9団体の活動組織が森林の保全活動に取り組んだ。</p>
水産環境整備事業費	29,708  (職員人件費 (事業費支弁分) を含む額 31,108)	<p>◎ 魚礁設置事業 29,708 (国 14,850) (県 9,900) (市債 5,400)</p> <p>【目的】 糸島沿岸海域に鋼製魚礁を設置することで、水産資源の定着・育成を図り、沿岸海域における漁獲量の増加を図る。</p> <p>【対象】 漁業者(糸島漁業協同組合)</p> <p>【成果】 姫島北側沖に鋼製魚礁を4基設置した。</p>
水産多面的機能発揮 対策事業費	1,042	<p>◎ 水産多面的機能発揮対策事業 1,042 (県 200)</p> <p>【目的】 水産業および漁村は、市民に安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、水域の監視・海難救助による市民の生命・財産の保全等、市民に対して種々の多面的機能を提供する役割を担ってきた。 しかし、高齢化と漁村人口の減少等により、その役割に支障が生じているため、多面的機能が将来にわたって発揮するための活動を推進する。</p> <p>【対象】 糸島磯根漁場保全協議会</p> <p>【成果】 水域の監視(監視活動)、藻場の保全(モニタリング、食害生物の除去、海藻の種苗投入、多面的機能の理解・増進を図る取組)活動を支援した。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他水産振興事業費	131,105	<p>◎ 水産物ブランド化推進事業 5,040</p> <p>【目的】 PR活動や販路拡大をはじめとする販売戦略の構築や魚しょく普及活動を実施することで、糸島産水産物の消費拡大と漁家所得の向上を図る。</p> <p>【対象】 漁業者および市民</p> <p>【成果】 販路拡大や新商品開発、魚しょく普及、水産業の魅力発掘や収集とインターネットなどでの情報発信、各種イベントでのPR活動等。</p> <p>◎ 水産業振興補助金事業 3,000</p> <p>【目的】 所得率の高い水産資源の確保により、後継者育成を図るとともに豊かな食の維持につなげる。</p> <p>【対象】 糸島漁協組合員</p> <p>【成果】 クルマエビ25万尾、ガザミ4万2千尾、ヨシエビ25万尾、クロアワビ8万5千個、ホウニ4万2千個の放流に対し補助。</p> <p>◎ カキ小屋整備事業 110,100 (県 95,100)</p> <p>【目的】 常設のカキ小屋を整備することで、休漁が増加する冬場に安定した収入を確保し、衛生面が改善されることで事故を未然に防ぐ効果もあり、観光客の増加と漁業者の所得向上、雇用の創出につなげる。</p> <p>【対象】 糸島漁協組合員</p> <p>【成果】 岐志漁港 海業支援施設(カキ小屋)9棟の建設</p> <p>◎ 福岡県水産業振興対策事業 11,250</p> <p>【目的】 作業の効率化、安全性の確保などによる漁労環境の改善とコストの削減による所得の向上を図り、漁業を魅力ある職業への転換を進めるため共同利用施設を整備する。</p> <p>【対象】 糸島漁業協同組合</p> <p>【成果】 製氷施設(船越漁港)の新設に対し補助。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
姫島漁港整備事業費  (職員人件費 (事業費支弁分) を含む額 37,069)	35,369	◎ 漁村再生交付金事業(姫島漁港) 35,369 (平成30年度～令和元年度) (県 22,200) (市債 7,900)  【目的】 漁船の大型化による休憩岸壁不足及び荒天時の波浪侵入の解消により漁船の安全を確保する。 【対象】 漁業者 【成果】 姫島漁港 岸壁延伸工事施工12m
漁港改修等事業費	57,527	◎ 福岡県漁港等施設改修事業 6,052 (県 3,000) (市債 2,600)  【目的】 築造から30年経過した照明設備(水銀灯)をLED灯に転換することで設備の長寿命化を図り、併せて漁業者の労働環境の改善と漁港維持管理費の削減を目的とする。 【対象】 漁業者(糸島漁業協同組合) 【成果】 加布里漁港照明灯20基をLED照明へと転換した。  ◎ 漁港施設機能保全事業 31,432 (県 15,540) (市債 800)  【目的】 漁港施設等の修繕により、施設の長寿命化や更新コストの平準化、縮減を図る。 【対象】 漁業者(糸島漁業協同組合) 【成果】 ・芥屋漁港被覆ブロック設置工事 ・野北漁港泊地航路整備工事  ◎ 漁港施設機能強化事業 20,043 (県 10,000)  【目的】 生産拠点漁港に位置づけされた漁港は、重点的に地震・津波対策の強化を行うべきと定められており、大規模な地震や津波に被災した場合、早期の復旧を促進する上で、重要度の高い防波堤や岸壁の安全性を検証するもの。 【対象】 漁業者(糸島漁業協同組合) 【成果】 野北漁港、船越漁港の耐震、耐津波診断を実施した。
姫島漁港整備事業費 (繰越明許費分)	4,400	◎ 漁村再生交付金事業(姫島漁港) 4,400 (平成30年度～令和元年度) (国 2,640) (県 616) (市債 900)  【目的】 漁船の大型化による休憩岸壁不足及び荒天時の波浪侵入の解消により漁船の安全を確保する。 【対象】 漁業者 【成果】 姫島漁港 岸壁延伸工事施工12m

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
商工会補助事業費	20,836	<p>◎ 新規起業支援事業 4,497 (国 750) (令和元年度～令和3年度)</p> <p>【目的】 起業セミナー(創業塾)や専門家相談会の開催、創業関連資金融資の利子補給や、空き物件のリフォームに対する経費の一部を補助することで、新規起業者の増加につなげ、新たな企業活力を呼び込むことができる。</p> <p>【対象】 開業を希望する市民及び開業したばかりの事業者</p> <p>【成果】 新規起業数:40件 創業塾の開催(年2回)34人参加 ワンストップ窓口設置による創業・経営支援 ①専門家相談会の定期的な開催 5件 ②経営指導員による支援 92回 創業関連資金融資利子補給:20件(880千円交付) 店舗改修サポート(業者紹介・改修費補助)12件(2,632千円交付)</p> <p>◎ 利子補給助成事業 1,864 (令和元年度～令和3年度)</p> <p>【目的】 小規模事業者経営改善資金融資による経営改善を支援することで経営の強化・安定を図る。</p> <p>【対象】 小規模事業者</p> <p>【成果】 融資決定件数:56件 利子補給件数:51件(1,851千円交付)</p>
プレミアム付商品券事業費	72,542 (職員人件費(事務費分)を含む額 72,687)	<p>◎ プレミアム付商品券事業 72,542 (国 72,687)</p> <p>【目的】 令和元年10月からの消費税増税の影響を受ける対象者にプレミアム付き商品券を発行することで、生活を下支えする。 商品券販売期間 令和元年10月1日から令和2年2月28日まで 商品券使用期間 令和元年10月1日から令和2年3月31日まで</p> <p>【対象】 非課税者及び0～2歳児子育て世帯主</p> <p>【成果】 商品券販売枚数:268,010枚 134,005,000円 商品券換金枚数:267,153枚 133,576,500円=(市内登録店舗での消費額)</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他商工振興費	9,973	<p>◎ 経営革新事業者補助事業 9,844                      (令和元年度～令和3年度) (国 4,043)</p> <p>【目的】                      経営革新意欲(やる気)のある商工業者が積極的に経営革新に取り組む事業に補助することで、経営の強化・安定を図る。また、補助対象事業者の相手商工業者を市内商工業者に誘導することで、補助額以上の経済効果を期待する。</p> <p>【対象】                      市内事業者</p> <p>【成果】                      対象事業                      ①経営革新計画に従って行われる経営革新のための事業                      ②上記に準じる事業であると市長が認める事業                      補助事案件数:33件(①:24件、②:9件)                      糸島市の経営革新承認件数:19件</p>
観光のまちづくり事業費	17,024	<p>◎ 観光大使事業 1,626                      (平成26年度～令和3年度)</p> <p>【目的】                      糸島観光大使については、市の観光・産業等の情報を国内外に広く発信し、市の観光振興を図ることを目的とする。                      いとしま国際観光大使については、市の歴史・文化・風土・観光地その他の魅力を海外に発信し、市の観光振興を図ることを目的とする。</p> <p>【対象】                      市長が委嘱する糸島観光大使及びいとしま国際観光大使</p> <p>【成果】                      ・糸島観光大使                      5人と1団体に委嘱し、計466回PRのための情報発信を実施。                      ・いとしま国際観光大使                      7か国20人に委嘱し、体験プログラムを計5回開催して延べ69人が参加。                      SNS等での情報発信回数は、延べ936回実施。</p> <p>◎ 地域おこし協力隊(観光)事業 3,409                      (平成30年度～令和3年度) (基金 3,344)</p> <p>【目的】                      市や地域住民、(一社)糸島市観光協会、観光関係事業所、関係団体等と連携しながら、国内外の観光客増加につながる活動やDMO事業の運営支援などを通じて、市内観光業の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>【対象】                      糸島市を訪れる観光客、市内観光事業者</p> <p>【成果】                      平成31年3月1日に1人着任。国内外への積極的な情報発信を行い、観光入込客の増加、周遊の促進に寄与した。                      ・SNSによる情報発信179回                      ・海外事務所への情報発信7回                      ・研修、セミナー等への参加7回                      ・いとしま学体験プログラム企画及び運営補助7回                      ・テレビ、ラジオ、イベント等での情報発信6回                      ・観光パンフレット「初めての女子旅」3,500部作成</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
観光のまちづくり事業費	17,024	<p>◎ 外国人観光客観光情報発信事業 1,150 (国 575)</p> <p>【目的】 福岡市を玄関口に多数来訪している外国人観光客をターゲットに情報発信を行い、本市への誘客につなげ、市内観光消費額の増加、地域経済活性化に寄与する。</p> <p>【対象】 外国人観光客、市内観光事業者</p> <p>【成果】 福岡市周辺の外国人観光客や日本在住の外国人が来訪する数多くの観光スポットや観光事業所との強いつながりを活用し、福岡市近隣を観光する外国人に対し、広く隅々まで届く発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊誌「フクオカ・ナウ」9月号及び10月号に各2頁ずつ本市観光情報を掲載</li> <li>・同誌のWEBページにも誌面と同様の記事を掲載</li> <li>・既存の観光パンフレット「Explore Itoshima」を活用し、フクオカ・ナウWEBページに転載。</li> </ul> <p>◎ 観光案内・情報発信業務委託事業 8,653 (令和元年度～令和3年度) (国 4,326)</p> <p>【目的】 観光情報の収集、発信、窓口案内を一元的に委託することで、観光誘客の強化、周遊観光の促進、観光満足度の向上を目指す。</p> <p>【対象】 糸島市観光協会、市内観光事業者、本市を訪れる観光客(旅前、旅中)</p> <p>【成果】 「観光情報の収集、発信、現地案内」を包括的に業務委託し、効率的・効果的に実施したことで、観光入込客の増加及び周遊促進による市内観光消費額の増加、観光満足度の向上によるリピーターの向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話による問い合わせ対応:8,731件</li> <li>・観光案内所窓口案内:21,049件 (来訪者31,872人、うち外国人4,977人)</li> <li>・観光パンフレット発送:289件</li> <li>・メディアからの問い合わせ対応、記事校正:143件</li> <li>・観光ボランティアガイド紹介・斡旋:7件</li> </ul>



主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
道路維持管理費	66,147	<p>◎ 道路長寿命化計画策定事業 3,190</p> <p>【目的】 道路の長寿命化を調査・計画することで、効果的な舗装修繕計画を策定し、効率的に道路を維持する。</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 道路の長寿命化計画を策定し、今後10年間で、市道幹線の計画的な修繕計画を策定した。</p>
市単独道路整備事業費	29,999	<p>◎ 市単独道路整備事業(維持補修) 29,999</p> <p>【目的】 歩行者及び車両等が安全及び快適に通行できるように実施する。各行政区からの改修要望が多いことから、緊急性・必要性の高いところから実施している。</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 道路の維持補修に伴う側溝、舗装等の改修を57路線実施した。</p>
市単独道路整備事業費	39,998	<p>◎ 市単独道路整備事業(新設改良) 39,998</p> <p>【目的】 歩行者及び車両等が安全及び快適に通行できるように実施する。</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 道路の改良に伴う側溝、舗装等の新設改良を16路線実施した。</p>
道路整備事業費	81,860	<p>◎ 新田久保田線整備事業 37,744 (平成26年度～令和元年度) (国 18,812) (市債 16,900)</p> <p>【目的】 県施工の街路事業(下新開線及び北新地新田線)の整備に合わせ、中央ルートと西回りルートを結ぶ重要な幹線道路として、また202号の交通混雑の解消を行うため、利便性及び交通安全の向上を図る。 工事長L=936m 幅員11.5m(路肩0.75m+車道3.25m)×2+歩道3.5m</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 道路改良工事 総延長L=936mのうちL=631mが完了した。</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
道路整備事業費	81,860	<p>◎ 浦志有田線整備事業 19,164                      〈平成27年度～令和3年度〉                      (国 9,401)                      (市債 8,400)</p> <p>【目的】                      JR糸島高校前駅南口へのアクセス道路を整備する。                      【対象】                      道路利用者、糸島高校前駅利用者                      【成果】                      用地買収(3筆)完了</p> <p>◎ 前原潤線整備事業 15,421                      〈令和元年度～令和3年度〉                      (国 7,013)                      (市債 6,300)</p> <p>【目的】                      本路線は狭小道路であるが、国道202号線のう回路として利用されているため、車両の交通量が多い。                      通学路として利用されているが狭小なため、本事業により歩行者の安全性や車両の利便性の向上を図る。                      【対象】                      道路利用者                      【成果】                      道路詳細設計業務完了</p> <p>◎ 浦志高等学校前線整備事業 2,618                      〈令和元年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】                      本箇所において、桂田踏切が廃止されたことにより交通量が増加しているため、右折帯を設置することにより渋滞の緩和を図る。                      【対象】                      道路利用者                      【成果】                      道路線形決定</p> <p>◎ 前原南小学校前交差点整備事業 6,913                      〈令和元年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】                      交差点部分に児童待避スペースを確保することにより、通学時の安全確保を図る。                      【対象】                      道路利用者                      【成果】                      用地買収(1筆)完了</p>
狭あい道路整備事業費	11,523	<p>◎ 小町2号線整備事業 11,523                      〈令和元年度～令和3年度〉                      (国 5,720)                      (市債 5,100)</p> <p>【目的】                      本路線は狭小道路であり緊急車両が通行しづらいので、本事業により道路を拡幅し市民の安全安心な暮らしを確保する。                      【対象】                      道路利用者                      【成果】                      道路詳細設計業務完了</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>道路整備事業費 (繰越明許費分)</p>	<p>82,372</p>	<p>◎ 新田久保田線整備事業 78,334                      〈平成26年度～令和元年度〉                      (国 39,027)                      (市債 35,100)</p> <p>【目的】                      県施工の街路事業(下新開線及び北新地新田線)の整備に合わせ、中央ルートと西回りルートを結ぶ重要な幹線道路として、また202号の交通混雑の解消を行うため、利便性及び交通安全の向上を図る。                      工事長L=936m                      幅員11.5m(路肩0.75m+車道3.25m)×2+歩道3.5m</p> <p>【対象】                      道路利用者</p> <p>【成果】                      道路改良工事 総延長L=936mのうちL=305mが完了</p> <p>◎ 前原西中学校前線整備事業 4,038                      (国 1,851)                      (市債 1,600)</p> <p>【目的】                      歩道を設置することにより、通学をはじめ一般通行者の安全性を確保する。                      工事長 L=20.0m                      道路幅員 W=8.5m(うち歩道W=2.0m)</p> <p>【対象】                      道路利用者、前原西中学校通学利用者</p> <p>【成果】                      歩道設置工事の施工完了</p>
<p>交通安全施設整備事業費</p>	<p>22,909</p>	<p>◎ 交通安全施設整備事業 14,958</p> <p>【目的】                      歩行者の安全確保及び車両の増加による交通事故防止を図る。各行政区からの設置要望が多いことから、緊急性・必要性の高い箇所から順次計画的に実施する。</p> <p>【対象】                      道路利用者</p> <p>【成果】                      防護柵(ガードレール)550m、道路反射鏡(カーブミラー)18基、区画線2,490mを整備した。</p> <p>◎ 加布里停車場線歩道設置事業 7,951                      〈令和元年度～令和3年度〉                      (国 3,685)                      (市債 2,700)</p> <p>【目的】                      本路線は加布里小学校の通学路や加布里駅への通勤経路であるが、車両の交通量が多い中歩道が整備されていないため、本事業により歩行者の利便性及び安全性を確保する。                      工事長 L=250m                      幅員 W=10.5m</p> <p>【対象】                      道路利用者</p> <p>【成果】                      道路詳細設計業務完了</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
交通安全施設 整備事業費 (繰越明許費分)	48,551	<p>◎ JR荻浦踏切歩道設置事業 48,551 (国 23,793) (市債 17,500)</p> <p>【目的】 JR荻浦踏切内の歩行者の安全確保を図る。 【対象】 市道大浦荻浦線JR荻浦踏切通行者 【成果】 歩道拡幅工事が完了した。</p>
橋梁長寿命化事業費	74,533  (職員人件費 (事業費支弁分) を含む額 81,533)	<p>◎ 橋梁長寿命化修繕事業 74,533 (平成26年度～令和5年度) (国 40,722) (市債 25,900)</p> <p>【目的】 計画的に点検を実施し、事故の防止や維持費の削減に努める。 計画的な点検を実施することにより、国の交付金を活用し修繕や 架け替え事業を実施することができる。 【対象】 市内全域の橋梁施設利用者 【成果】 ①近接目視点検200橋 ②橋梁修繕工事(水越橋) ③幸田橋架替工事(上部工)発注(次年度繰越)</p>
橋梁長寿命化事業費 (繰越明許費分)	10,736	<p>◎ 橋梁長寿命化修繕事業 10,736 (平成26年度～令和5年度) (国 5,625) (市債 4,100)</p> <p>【目的】 計画的に点検を実施し、事故の防止や維持費の削減に努める。 計画的な点検を実施することにより、国の交付金を活用し修繕や 架け替え事業を実施することができる。 【対象】 市内全域の橋梁施設利用者 【成果】 橋梁修繕工事(大町橋)</p>
河川維持管理費	21,690	<p>◎ 河川維持管理事業 18,876 (基金 18,876)</p> <p>【目的】 認定河川の計画的な維持補修を行うことにより、豪雨による災害か ら市民の財産と生命を守る。 【対象】 市が管理する河川 【成果】 河川の浚渫を4河川実施した。</p>
下排水路改良事業費	2,891	<p>◎ 下排水路改良事業 2,891 (平成23年度～令和元年度)</p> <p>【目的】 下排水路整備により生活環境改善を図る。 【対象】 下水道が整備されていない地域 【成果】 野辺福ノ浦地区と二丈福井の要望箇所を整備した。</p>

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
計 画 事 業 費	10,451	<p>◎ 都市計画道路検証事業 10,450                      (国 2,700)                      (基金 7,368)</p> <p>【目的】                      都市計画道路は、社会情勢の変化や都市政策の転換の変化等で必要性が大きく変動し、また、長期未着手の都市計画道路が多数存在している。このような状況を踏まえ、県の方針では概ね10年毎に検証を行うこととされているため見直し作業を行うもの。</p> <p>【対象】                      糸島市民</p> <p>【成果】                      路線ごとの必要性調査と実現性調査を行った。</p>
その他都市計画総務費	47,462	<p>◎ 木造戸建て住宅耐震改修促進事業 1,776                      (国 438)                      (県 900)</p> <p>【目的】                      本市の住宅の耐震化促進を図り、震災から市民の生命及び財産を守る。</p> <p>【対象】                      昭和56年5月31日以前に建築または工事着工した市内の木造戸建て住宅で、耐震診断を受けた結果、耐震性に乏しいと判定されたもの。</p> <p>【成果】                      補助事業の件数 3件</p> <p>◎ 地図更新事業 33,611</p> <p>【目的】                      ・地形図の販売及びデータ利用を市民及び事業者に行うことによる行政サービスの向上。                      ・都市計画法で作成が義務付けられる法定図書の下図としての利用。                      ・市内部におけるGISのベースマップとしての利用。</p> <p>【対象】                      市民                      地形図、都市計画図等を必要とする事業者                      地形図を二次利用する事業者                      GISを利用する関係部署</p> <p>【成果】                      ・市の基盤地図情報である地形図に、合併後10年分の経年変化の修正を加えたことにより、GIS利用の最適化を図った。                      ・更新した地形図の提供により、市民及び事業者の利便性を図った。</p>

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他都市計画総務費	47,462	<p>◎ ブロック塀等撤去促進事業 2,402 〈平成30年度～令和2年度〉 (国 1,080) (県 641)</p> <p>【目的】 危険なブロック塀の除去により災害時の通学路や避難路の安全を確保する。</p> <p>【対象】 市内</p> <p>【成果】 市内の危険なブロック塀25件の除去を実施</p> <p>◎ 土地利用基本調査事業 6,028</p> <p>【目的】 総合計画の策定及びそれに基づく国土利用計画、都市計画マスタープラン等の見直しに係る基礎資料を整理すること。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 調査業務(委託)を実施し、報告書を作成。</p>
県営街路整備事業費	42,008	<p>◎ 県営街路整備事業 42,008 (市債 25,100)</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北新地新田線(平成25年度～令和2年度) 加布羅交差点付近の交通混雑の解消、利便性の向上及び交通安全の確保。九州大学へのアクセスを向上させる学園通り線西回りルートの一部として整備する。</li> <li>・波多江泊線(平成17年度～令和10年度) 国道202号及び同バイパスを結ぶ南北の道路網を構築することにより、国道202号、県道瑞梅寺池田線等の交通混雑を緩和し、市民の利便性及び九州大学との連携機能の向上を図り、研究・産業機関の立地や九州大学との連携強化する中央ルートを整備する。</li> </ul> <p>【対象】 市民全般</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北新地新田線 用地買収・物件移転を完了し、一部街路整備工事を実施。</li> <li>・波多江泊線 国の事業認可を福岡県が取得し、現地測量・地質調査を実施。</li> </ul>
波多江駅自由通路整備事業費	32,847	<p>◎ 波多江駅自由通路線整備事業 32,847 〈平成24年度～令和3年度〉 (国 9,655) (市債 8,400) (基金 3,346)</p> <p>【目的】 波多江駅の自由通路を整備することにより駅南側からの駅利用者の利便性向上を図るとともに、安全で快適な歩行空間の整備を行う。</p> <p>【対象】 波多江駅利用者</p> <p>【成果】 JR九州との協定書に基づき、既設跨線橋の撤去工事を行った。</p>

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
駅施設整備事業費	39,426	<p>◎ バリアフリー化設備等整備事業 39,426                      〈平成30年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】                      公共交通機関における高齢者や障害者等の移動に係る安全性や利便性の向上の促進等を図る。</p> <p>【対象】                      JR筑肥線利用者及びJR九州</p> <p>【成果】                      糸島高校前駅:ホーム柵配線、本体購入                      波多江駅:2番線基礎工事、階段改良工事</p>
波多江駅自由通路整備事業費 (継続費分)	85,313	<p>◎ 波多江駅自由通路線整備事業 85,313                      〈平成24年度～令和3年度〉                      (国 37,756)                      (市債 33,900)</p> <p>【目的】                      波多江駅の自由通路を整備することにより駅南側からの駅利用者の利便性向上を図るとともに、安全で快適な歩行空間の整備を行う。</p> <p>【対象】                      波多江駅利用者</p> <p>【成果】                      用地買収を完了させ、JR九州との協定書に基づき、既設跨線橋の撤去工事を行った。</p>
駅施設整備事業費 (繰越明許費分)	35,339	<p>◎ バリアフリー化設備等整備事業 35,339                      〈平成30年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】                      公共交通機関における高齢者や障害者等の移動に係る安全性や利便性の向上の促進等を図る。</p> <p>【対象】                      JR筑肥線利用者及びJR九州</p> <p>【成果】                      筑前前原駅:2、3番線基礎工事(繰越分)</p>

主な事業(建設都市部 施設管理課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
公園緑地改修事業費	11,775	<p>◎ 市街地隣接公園高木伐採事業 4,776                      〈平成30年度～令和2年度〉 (基金 4,776)</p> <p>【目的】                      近隣住民の強風での倒木及び火災延焼の懸念等を払拭し、安心して暮らせる生活環境をつくる。</p> <p>【対象】                      住宅に隣接した公園の高木及び竹</p> <p>【成果】                      高田東公園、篠原公園、南風台緑地の危険性が高い高木及び竹を伐採し、被害を未然に防いだ。</p> <p>◎ 公園遊具設置事業 6,999                      〈令和元年度～令和6年度〉 (基金 6,999)</p> <p>【目的】                      地域の拠点的な公園(中学校区単位)に遊具を設置することにより、子育てしやすい環境を整える。</p> <p>【対象】                      駐車場やトイレ等の施設が整った地域の拠点的な公園(中学校区単位)</p> <p>【成果】                      福吉しおさい公園に複合遊具などの遊具を新設し、公園価値を高めた。</p>



主な事業(消防本部 警防課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
非常備消防関係費	126,587	<p>◎ 消防団装備整備事業 4,799</p> <p>【目的】 消防団装備を充実することで、消防団員の身体の安全を確保し、消防活動の機能強化を図る。</p> <p>【対象】 消防団装備が不足する消防団員。</p> <p>【成果】 不足する消防団員の保安帽500個、長靴200足、救命胴衣着378着を整備した。 消防団装備を整備することで、消防団員の身体的安全性を確保することができ、災害活動の充実を図ることができている。</p> <p>◎ 消防団準中型免許取得事業 59</p> <p>【目的】 消防団消防ポンプ自動車等の運転が可能な免許を保有していない消防団員に準中型免許等の取得費用を助成し、消防団活動の維持を図る。</p> <p>【対象】 平成29年3月12日以降に普通自動車運転免許を取得した消防団員、既にオートマチック車限定運転免許を取得している消防団員及び運転免許を保有していない消防団員</p> <p>【成果】 準中型免許取得者 1名 オートマチック限定解除者 1名</p>
非常備消防関係費 (繰越明許費分)	2,889	<p>◎ 消防団救助能力向上資機材緊急整備事業 2,889 (国 963)</p> <p>【目的】 消防団装備を充実することで、消防団活動の機能強化を図る。</p> <p>【対象】 消防団装備が不足する消防団員。</p> <p>【成果】 不足する消防団員のトランシーバー209機を整備した。 消防団装備を整備することで、消防団員の機能が強化し、災害活動の充実を図ることができている。</p>
消防施設整備事業費	85,061	<p>◎ 防火水槽整備事業 10,694 (平成28年度～令和2年度) (市債 10,600)</p> <p>【目的】 火災による被害の軽減、消防水利が充実する地域を拡大する。</p> <p>【対象】 消防水利を充実する必要がある地域。</p> <p>【成果】 防火水槽を2箇所に設置(篠原東地区、福井地区)。</p>

主な事業(消防本部 警防課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
消防施設整備事業費	85,061	<p>◎ 消防団ポンプ自動車整備事業 22,216 (市債 20,700)</p> <p>【目的】 地域防災の要である消防団の老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、安全安心のまちづくりに寄与する。</p> <p>【対象】 消防団の老朽化した消防ポンプ自動車</p> <p>【成果】 可也分団消防ポンプ自動車を更新した。</p> <p>◎ 県防災行政情報通信ネットワーク整備事業 5,559 (平成29年度～令和元年度) (市債 5,500)</p> <p>【目的】 最新の通信速度、通信方法に対応するために更新工事を実施する。(県主体工事)</p> <p>【対象】 平成9年度から平成11年度に整備した福岡県防災行政情報通信ネットワークシステム</p> <p>【成果】 発動発電機の更新、TVRO空中線取替作業等を実施し、事業費9,150千円のうち令和元年度分の5,559千円を支出した。</p> <p>◎ 高規格救急自動車整備事業 37,944 (市債 33,400)</p> <p>【目的】 救急車を最新の装備を積載した車両に更新し、市民の安全安心の向上を図る。</p> <p>【対象】 消防署二丈出張所配備の高規格救急自動車</p> <p>【成果】 消防署二丈出張所配備の高規格救急自動車を更新整備した。救急車を適正に更新整備することで、傷病者に適切な応急処置を実施することができている。</p> <p>◎ 通信指令施設更新事業 1,186</p> <p>【目的】 令和11年度に予定している福岡都市圏消防共同指令センターへの参加まで、適正な119番受信体制を維持し、災害対応の迅速性を確保する。</p> <p>【対象】 消防本部通信指令施設</p> <p>【成果】 住居表示変更に伴う消防本部通信指令施設システムの更新を実施した。</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
事務局費	93,220	<p>◎ 長寿命化計画策定事業 36,036 (基金 36,036)</p> <p>【目的】 糸島市立小中学校は、建築後20年経過した建物が7割を超えており、老朽化が深刻な問題となっている。厳しい財政状況の下、学校施設に求められる機能・性能を確保するとともに、老朽化施設の再生によるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るため、長寿命化計画を策定する。 270棟の建物の老朽化を把握し、学校施設の長寿命化を図ること、また、公共施設等総合管理計画・第2期以降に係る事業費の把握及び事業量の平準化と財政負担軽減を図る。</p> <p>【対象】 小中学校22校(270棟)</p> <p>【成果】 安全で安心できる教育環境の確保。 学校施設の長寿命化計画策定業務</p>
小学校大規模改造事業費	349,009 (職員人件費 (事業費支弁分) を含む額 358,109)	<p>◎ 前原小学校大規模改造事業 335,699 〈平成30年度～令和3年度〉 (国 14,306) (市債 230,400) (基金 30)</p> <p>【目的】 老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 前原小学校大規模改造工事(7棟)</p> <p>◎ 波多江小学校校舎大規模改造事業 13,310 〈令和元年度～令和4年度〉 (市債 8,300)</p> <p>【目的】 老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 大規模改造工事实施設計(5棟)</p>
小学校改修事業費	99,450	<p>◎ 小学校改修事業 61,093 (基金 61,093)</p> <p>【目的】 市内小学校の小規模営繕工事を実施し、事故防止、施設の保全を図る。3年毎に専門家による施設の調査・点検を実施し、危険箇所等を把握、事故防止に努める。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 改修工事等 98件</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
小学校改修事業費	99,450	<p>◎ 小学校プール循環ろ過設備改修事業 9,560</p> <p>【目的】 小学校のプールは、透明度が高く、滅菌により安全・安心な水を作るため循環ろ過装置が必要である。現状では、耐用年数(15年)を過ぎ20年以上使用しているため、ろ過効率が落ち、藻(あおこ)の発生や透明度が低下している。よって、ろ過設備更新することにより機能を向上させ、プール水質基準を保持、良好な学習環境を整える。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 前原小学校プール水循環ろ過設備工事</p> <p>◎ 小学校トイレ改修事業 2,390 (令和元年度～令和9年度) (基金 2,390)</p> <p>【目的】 家庭のトイレ環境の変化に伴い、和式便所から洋式便所へ改修することで、学校施設の衛生環境を確保することを目的とする。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 雷山小学校トイレ改修工事実施設計</p> <p>◎ 怡土小学校受水槽改修事業 9,162 (基金 9,162)</p> <p>【目的】 老朽化した消火水槽兼用受水槽を更新する。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 怡土小学校受水槽改修工事</p> <p>◎ 怡土小学校外構改修事業 6,108 (基金 6,108)</p> <p>【目的】 怡土小学校の不審者対策及び児童と保護者の送迎車両の動線分離を行うため、安全対策として、門扉の設置と外構工事を行うもの。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 怡土小学校外構改修工事</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
小学校改修事業費	99,450	<p>◎ 波多江小学校屋内運動場床改修事業 6,394 (基金 6,394)</p> <p>【目的】 老朽化に伴い床の破損による児童のけがを未然に防ぎ、教育環境の整備を図ることを目的とする。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 波多江小学校屋内運動場床改修工事</p> <p>◎ 波多江小学校外構等整備事業 4,743 (令和元年度～令和2年度) (基金 4,743)</p> <p>【目的】 登下校時の児童の安全対策を図るため、歩道の溜りスペースの確保及び児童と車の動線を分離し、事故防止に努める。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 波多江小学校外構等整備工事</p>
小学校設備 設置事業費	33,701	<p>◎ 給食室空調設備整備事業 33,701 (平成29年度～令和元年度) (基金 33,701)</p> <p>【目的】 市内小学校における給食調理室の空調環境の向上を図ることにより給食調理員の労働環境の改善を行うとともに良好な教育環境を確保することを目的とする。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 空調設備工事(7校) (加布里小、怡土小、雷山小、一貴山小、福吉小、可也小、姫島小)</p>
小学校設備 設置事業費 (繰越明許費分)	5,184	<p>◎ 給食室空調設備整備事業 5,184 (平成29年度～令和元年度)</p> <p>【目的】 市内小学校における給食調理室の空調環境の向上を図ることにより給食調理員の労働環境の改善を行うとともに良好な教育環境を確保することを目的とする。</p> <p>【対象】 児童・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 空調設備工事(7校) (加布里小、怡土小、雷山小、一貴山小、福吉小、可也小、姫島小)</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
中学校改修事業費	30,658	<p>◎ 中学校改修事業 26,998 (基金 26,998)</p> <p>【目的】 市内中学校の小規模営繕工事を実施し、事故防止、施設の長寿命化を図る。3年毎に専門家による施設の調査・点検を実施し、危険箇所等を把握、事故防止に努める。</p> <p>【対象】 生徒・教職員</p> <p>【成果】 生徒・教職員の良好な教育環境の確保 改修工事等 37件</p> <p>◎ 中学校トイレ改修事業 3,660 〈令和元年度～令和9年度〉 (基金 3,660)</p> <p>【目的】 老朽化に伴うトイレの衛生環境の改善及び家庭のトイレ環境の変化に伴う和式便所から洋式便所へ改修することにより、教育環境の改善を図る。</p> <p>【対象】 生徒・教職員</p> <p>【成果】 前原中学校トイレ改修工事実施設計</p>

主な事業(教育部 生涯学習課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
福岡マラソン 実施事業費	13,783	◎ 福岡マラソン実施事業 9,783  <b>【目的】</b> スポーツイベントの実施により、スポーツの振興と地域の活性化を図り、まちづくりへの市民の意識の高揚を図る。 併せて、糸島市独自の事業展開により大会を盛り上げ、糸島市を積極的にPRする事を目的とする。 <b>【対象】</b> 市民 <b>【成果】</b> 沿道応援やもてなし事業に参加した市民1,083人。
ヤングシニア生きいき プロジェクト事業費	2,364	◎ スポーツチャレンジ事業(ヤングシニア生きいき分) 2,364 (国 1,182) 〈平成29年度～令和2年度〉  <b>【目的】</b> 全国的にスポーツの機運が高まる中、この契機を活かした事業を展開。スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供し、スポーツ習慣や健康志向の定着を図る。 <b>【対象】</b> 市民 <b>【成果】</b> スポーツ体験教室等:14回実施。666人参加。 体力測定(簡易体力テスト):4回実施。552人参加。 ニュースポーツ指導(しあわせ教室):7回実施。161人参加。 トップアスリート講演会:1回実施。312人参加。
体育施設管理運営費	80,479	◎ 体育施設改修整備事業 49,808 〈平成29年度～令和3年度〉  <b>【目的】</b> 体育施設の改修を行い、施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増加を促すなどスポーツの振興を図る。 <b>【対象】</b> 市民、体育施設利用者 <b>【成果】</b> 芥屋野球場防球ネット設置工事及びグラウンド改修工事 芥屋野球場屋外便所設置工事 曾根野球場防球ネット設置工事 志摩体育館アリーナ改修工事

主な事業(教育部 文化課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>国宝、重要文化財 保存事業費</p>	<p>9,215</p>	<p>◎ 国宝、重要文化財保存事業 6,400 (国 3,200) (県 300) (基金 2,900)</p> <p>【目的】 市内の重要遺跡を保護し、史跡指定や整備活用を行うため、発掘調査を実施し、その成果を基に調査研究を行い遺跡の実態を解明する。 また、自己居住用個人住宅の建設に伴う発掘調査を実施する。 (原則的に建築主の費用負担は伴わない)</p> <p>【対象】 重要遺跡の確認調査及び自己居住用個人住宅の建築に係る発掘調査等。</p> <p>【成果】 泊大塚古墳の発掘調査を行い、将来的な国史跡指定に向けてのデータを取得した。 怡土城跡の水門について発掘調査を行い、将来の整備へ向けての資料を取得した。</p> <p>◎ 文化財保存整備事業(新町支石墓群) 2,815 (国 1,400) (県 300) (基金 1,115)</p> <p>【目的】 文化財保護法の改正により、史跡の保存にとどまらずその活用が重視されることとなった。公園化を図り活用基盤を整備することにより、市民の身近に感じる史跡として郷土の歴史文化への理解を深められるよう、本市が目指す「いとしま学」の実践の場づくりを進めることを目的とする。</p> <p>【対象】 市民、国史跡 新町支石墓群</p> <p>【成果】 『国史跡 新町支石墓群保存活用計画』を策定した。</p>
<p>伊都文化会館 管理運営費</p>	<p>32,274</p>	<p>◎ 伊都文化会館音響設備等更新事業 1,075 (令和元年度～令和6年度)</p> <p>【目的】 文化・芸術活動の拠点である伊都文化会館は、竣工30年以上を経過しており、施設の経年劣化が著しく、音響卓に不具合が生じているため、音響機器の更新を行い、安定的な音響サービスの向上を図る。</p> <p>【対象】 市民(伊都文化会館利用者)</p> <p>【成果】 安定的な音響サービスの提供を図る。 サービス提供開始(令和2年1月～)</p>



主な事業(教育部 学校教育課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
事務局費	93,220	<p>◎ 特別支援教育専門員配置事業(共済費を除く) 2,291 (国 616) 〈令和元年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 特別支援教育の様々なニーズに対応できるよう関係機関との連携を図り、教員や特別支援教育支援員への専門研修・指導助言等を行う。</p> <p>【対象】 児童生徒及びその保護者、小中学校及び教員</p> <p>【成果】 教員等に対し、特別支援教育における専門的指導助言や研修を行った。</p>
生徒指導充実事業費	19,081	<p>◎ 学校問題解決支援事業 5,864 (県 1,633) (基金 4,231) 〈令和元年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 小中学校では児童生徒の不登校、問題行動、保護者対応等、様々な問題を抱えており、問題解決の支援を教育委員会として行う。</p> <p>【対象】 小中学校児童生徒及びその保護者</p> <p>【成果】 スクールソーシャルワーカーを嘱託員として2人雇用し、不登校児童生徒、保護者への支援、関係機関との連絡調整を行った。</p> <p>◎ 不登校対応指導員配置事業 4,560 (基金 4,560) 〈令和元年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 本市においても、不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、不登校の問題への対策を講じる。</p> <p>【対象】 小中学校児童生徒及びその保護者、関係学校教員</p> <p>【成果】 不登校対応指導員2名による不登校児童生徒への支援を実施した。</p>
開かれた学校づくり 事業費	2,116	<p>◎ E-フェスイとしま開催事業 263 (国 132) (基金 131) 〈平成30年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】 市内外に糸島の教育力のアピールを実施する。</p> <p>【対象】 小中高等学校</p> <p>【成果】 台風の影響により延期(企画内容を変更、縮小実施)。 参加者満足度 88.7%</p>

主な事業(教育部 学校教育課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
開かれた学校づくり 事業費	2,116	◎ 学校の魅力PR事業 583 〈平成30年度～令和元年度〉 (国 291) <b>【目的】</b> 子育て世代を中心に、市内小中学校の特色ある教育の取組を冊子やホームページ等を活用して発信する。 <b>【対象】</b> 小中学校の保護者 <b>【成果】</b> 前原地区の小中学校の記事を作成配付した。
特別支援学校建設用地 取得事業費	6,668	◎ 特別支援学校建設用地取得事業(工作物撤去等) 6,668 (基金 6,668) <b>【目的】</b> 県立特別支援学校の用地取得のため。 <b>【対象】</b> 小中高等学校(特別支援学校) <b>【成果】</b> 県立特別支援学校の建設用地を取得した。
特別支援学校建設用地 取得事業費 (繰越明許費分)	14,149	◎ 特別支援学校建設用地取得事業 14,149 <b>【目的】</b> 県立特別支援学校の用地取得のため。 <b>【対象】</b> 小中高等学校(特別支援学校) <b>【成果】</b> 県立特別支援学校の建設用地を取得した。
小学校コンピュータ 整備事業費	50,901	◎ 教職員用校務パソコン整備事業 10,690 〈平成29年度～令和4年度〉 (基金 10,690) <b>【目的】</b> 校務の効率化及び情報セキュリティの強化を図るため。 現在保有のパソコンの多くは、平成21年度に購入されたもので償却資産における耐用年数4年を超えており、ICT教育を推進するうえで問題が多いため更新を行うもの(平成30年度から令和4年度までのリース)。 <b>【対象】</b> 小学校 <b>【成果】</b> 校務でパソコンを使用できるようにした。
中学校管理費	150,080	◎ 吹奏楽部楽器購入事業 9,997 (基金 9,997) <b>【目的】</b> 中学校の吹奏楽部活動の適切な運営・維持。 <b>【対象】</b> 中学校生徒及び学校 <b>【成果】</b> 各中学校の吹奏楽部で使用する楽器の配置・更新を行った。

主な事業(教育部 学校教育課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>中学校コンピュータ 整備事業費</p>	<p>49,882</p>	<p>◎ 教職員用校務パソコン整備事業 〈平成29年度～令和4年度〉 6,236 (基金 6,236)</p> <p>【目的】 校務の効率化及び情報セキュリティの強化を図るため。 現在保有のパソコンの多くは、平成21年度に購入されたもので償却資産における耐用年数4年を超えており、ICT教育を推進するうえで問題が多いため、更新を行うもの。(平成30年度から令和4年度までのリース)</p> <p>【対象】 中学校</p> <p>【成果】 校務でパソコンを使用できるようにした。</p> <p>◎ 無線LAN (Wi-Fi) 学校整備事業 〈令和元年度～令和3年度〉 10,584 (基金 10,584)</p> <p>【目的】 新学習指導要領において位置付けられた「情報活用能力」の育成のため。</p> <p>【対象】 中学校生徒及び学校</p> <p>【成果】 前原東中、前原西中の2校に、普通教室分の無線LAN環境を整備した。</p> <p>◎ タブレットPC整備事業 〈令和元年度～令和3年度〉 19,224 (基金 19,224)</p> <p>【目的】 新学習指導要領に位置付けられた「情報活用能力」の育成のため。</p> <p>【対象】 中学校生徒及び学校</p> <p>【成果】 前原東中、前原西中の2校に、タブレットPC42台(生徒用40台、指導者用2台)の整備完了</p>

主な事業(上下水道部 下水道課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
合併処理浄化槽 設置整備事業費	40,797	<p>◎ 合併処理浄化槽設置整備事業 39,542 (国 14,176) (県 13,180)</p> <p>【目的】 生活環境の改善及び自然環境の保全を図る。</p> <p>【対象】 市全域(ただし、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、個別排水処理施設整備事業の計画区域を除く。)において、専用住宅、自治公民館及び保育所等に合併処理浄化槽を設置しようとする者</p> <p>【成果】 令和元年度合併処理浄化槽設置基数 5人槽 73基 7人槽 33基 10人槽 3基 合計 109基</p>

# 特 別 会 計



# 1 住宅新築資金等貸付事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	20,230	16,568
歳 出	総 額	17,756	14,018
歳 入	歳 出 差 引 額	2,474	2,550
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費逡次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		2,474	2,550

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	36,438	△ 5,341	△ 12.8	31,194	△ 6,347	△ 16.9	5,244
28	19,731	△ 16,707	△ 45.9	15,388	△ 15,806	△ 50.7	4,343
29	28,552	8,821	44.7	25,631	10,243	66.6	2,921
30	16,568	△ 11,984	△ 42.0	14,018	△ 11,613	△ 45.3	2,550
令和 元	20,230	3,662	22.1	17,756	3,738	26.7	2,474

住宅新築資金等貸付状況

(単位:千円)

年度	貸付額	回 収 金			現年度 調定	年度末現在高
		元 金	利 子	計		
平成 27		14,634	2,061	16,695	6,245	239,510
28		9,873	2,202	12,075	3,548	230,983
29		7,240	1,476	8,716	2,802	225,069
30		5,878	1,039	6,917	2,363	220,515
令和 元		5,942	835	6,777	1,155	175,303

※貸付額は、平成8年度で終了しています。

地方債現在高の状況

(単位:千円)

借入先	A 平成30年度 現在高	B 令和元年度 発行額	令和元年度元利償還金			差引現在高 A+B-C
			C			
			元 金	利 子	計	
旧簡易生命保険資金	2,130	0	1,243	58	1,301	887
計	2,130	0	1,243	58	1,301	887



## 2 国民健康保険事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	13,088,683	13,447,060
歳 出	総 額	12,716,267	12,751,203
歳 入	歳 出 差 引 額	372,416	695,857
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費逡次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		372,416	695,857

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	15,641,036	2,336,327	17.6	15,617,777	2,166,348	16.1	23,259
28	15,334,569	△ 306,467	△ 2.0	14,902,041	△ 715,736	△ 4.6	432,528
29	15,554,061	219,492	1.4	14,752,949	△ 149,092	△ 1.0	801,112
30	13,447,060	△ 2,107,001	△ 13.5	12,751,203	△ 2,001,746	△ 13.6	695,857
令和 元	13,088,683	△ 358,377	△ 2.7	12,716,267	△ 34,936	△ 0.3	372,416

科目別決算の状況

歳入

(単位:千円、%)

科 目		平成30年度		
		決算額	構成比	
1款 保 険 税	一般被保険者分	2,495,198	18.6	
	退職被保険者等分	11,790	0.1	
	計	2,506,988	18.6	
2款	使用料及び手数料	146	0.0	
3款 県 支 出 金	普通交付金	8,571,774	63.7	
	特 別 交 付 金	保険者努力支援分	36,028	0.3
		特別調整交付金(市町村分)	144,470	1.1
		都道府県繰入金(2号分)	153,630	1.1
		特定健康診査等負担金	31,874	0.2
	その他補助金	96	0.0	
	財政安定化基金交付金	0	-	
計	8,937,872	66.5		
4款	財産収入	5	0.0	
5款 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	保険基盤安定	664,594	4.9
		職員給与費等	222,670	1.7
		出産育児一時金	36,018	0.3
		財政安定化支援事業	147,006	1.1
		その他一般会計	53,579	0.4
	小計	1,123,867	8.4	
財政調整基金繰入金	0	-		
計	1,123,867	8.4		
6款	繰越金	801,112	6.0	
7款	諸収入	77,070	0.6	
8款	国庫支出金	0	0.0	
歳入合計		13,447,060	100.0	

科 目		令和元年度		
		決算額	構成比	
1款 保 険 税	一般被保険者分	2,429,771	18.6	
	退職被保険者等分	1,920	0.0	
	計	2,431,691	18.6	
2款	使用料及び手数料	103	0.0	
3款 県 支 出 金	普通交付金	8,537,161	65.2	
	特 別 交 付 金	保険者努力支援分	41,124	0.3
		特別調整交付金(市町村分)	119,346	0.9
		都道府県繰入金(2号分)	36,996	0.3
		特定健康診査等負担金	31,838	0.2
	その他補助金	157	0.0	
	財政安定化基金交付金	0	-	
計	8,766,622	67.0		
4款	財産収入	68	0.0	
5款 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	保険基盤安定	664,382	5.1
		職員給与費等	215,082	1.6
		出産育児一時金	50,862	0.4
		財政安定化支援事業	159,672	1.2
		その他一般会計	3,815	0.0
	小計	1,093,813	8.4	
財政調整基金繰入金	0	-		
計	1,093,813	8.4		
6款	繰越金	695,858	5.3	
7款	諸収入	99,246	0.8	
8款	国庫支出金	1,282	0.0	
歳入合計		13,088,683	100.0	

歳出

(単位:千円、%)

科 目		平成30年度		
		決算額	構成比	
1款	総務費	220,120	1.7	
2款 保険給付費	一般 被保険者分	療養給付費	7,381,528	57.9
		療養費	90,290	0.7
		高額療養費	1,019,255	8.0
		高額介護合算療養費	192	0.0
		移送費	0	-
		小計	8,491,265	66.6
	退職 被保険者等分	療養給付費	18,985	0.1
		療養費	360	0.0
		高額療養費	1,425	0.0
		高額介護合算療養費	0	-
		移送費	0	-
		小計	20,770	0.2
		出産育児諸費	57,876	0.5
		葬祭諸費	4,000	0.0
	審査支払手数料	10,910	0.1	
	計	8,584,821	67.3	
3款 国民健康保険事業費納付金	医療費給付費分	一般	2,321,962	18.2
		退職	6,108	0.0
	後期高齢者支援金等分	一般	720,070	5.6
		退職	2,129	0.0
	介護納付金分	244,974	1.9	
	計	3,295,243	25.8	
4款	共同事業拠出金	2	0.0	
5款	保健事業費	69,950	0.5	
6款	基金積立金	400,561	3.1	
7款	公債費	0	-	
8款	諸支出金	180,506	1.4	
9款	予備費	0	-	
	歳出合計	12,751,203	100.0	

科 目		令和元年度		
		決算額	構成比	
1款	総務費	213,811	1.7	
2款 保険給付費	一般 被保険者分	療養給付費	7,378,432	58.0
		療養費	84,084	0.7
		高額療養費	1,019,552	8.0
		高額介護合算療養費	215	0.0
		移送費	0	-
		小計	8,482,283	66.7
	退職 被保険者等分	療養給付費	3,521	0.0
		療養費	49	0.0
		高額療養費	598	0.0
		高額介護合算療養費	0	-
		移送費	0	-
		小計	4,168	0.0
		出産育児諸費	43,653	0.3
		葬祭諸費	3,600	0.0
	審査支払手数料	19,053	0.1	
	計	8,552,757	67.3	
3款 国民健康保険事業費納付金	医療費給付費分	一般	2,526,501	19.9
		退職	1,080	0.0
	後期高齢者支援金等分	一般	686,701	5.4
		退職	292	0.0
	介護納付金分	237,801	1.9	
	計	3,452,375	27.1	
4款	共同事業拠出金	2	0.0	
5款	保健事業費	74,804	0.6	
6款	基金積立金	347,998	2.7	
7款	公債費	0	-	
8款	諸支出金	74,520	0.6	
9款	予備費	0	-	
	歳出合計	12,716,267	100.0	

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

形式収支(歳入-歳出)	372,416
実質収支(形式収支-翌年度へ繰越すべき財源)	372,416
単年度収支(実質収支-前年度繰越金)	△ 323,442
実質単年度収支※	20,741

※実質単年度収支=単年度収支+財政調整基金への積立金-財政調整基金取り崩し額(繰入金)-その他一般会計繰入金

国民健康保険加入状況の推移(年度末現在)

(単位:世帯、人)

年度	総数(住民基本台帳)		国民健康保険		加入率	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数
平成 27	39,609	99,687	15,821	28,992	39.9%	29.1%
28	40,372	100,131	15,556	28,183	38.5%	28.1%
29	41,269	100,721	15,523	27,537	37.6%	27.3%
30	42,267	101,450	15,493	26,938	36.7%	26.6%
令和 元	42,915	101,665	15,328	26,184	35.7%	25.8%

国民健康保険税率等の状況

( )は、平成26年度以前(税率改定前)分

区分	所得割	資産割	均等割	平等割	課税限度額
基礎課税分 (医療分)	8.0% (7.7%)	—	24,700円 (23,000円)	20,500円 (20,100円)	26年度 510,000円 27年度 520,000円 28年度～29年度 540,000円 30年度 580,000円 元年度 610,000円
後期高齢者支援金等課税分	2.4% (2.0%)	—	7,500円 (5,400円)	6,200円 (5,400円)	26年度 160,000円 27年度 170,000円 28年度～元年度 190,000円
介護納付金課税分	2.2% (1.55%)	—	12,700円 (8,400円)	—	26年度 140,000円 27年度～元年度 160,000円

(国保年金課)

国民健康保険税収納率等の推移

現年課税分 (単位:千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	収納率
平成 27	2,483,346	2,536,678	2,487,890	98.1
28	2,445,303	2,514,206	2,471,014	98.3
29	2,454,669	2,483,705	2,436,669	98.1
30	2,312,908	2,482,997	2,442,515	98.4
令和 元	2,262,907	2,424,615	2,375,546	98.0

滞納繰越分 (単位:千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	収納率
平成 27	81,871	398,055	99,907	25.1
28	71,004	312,437	85,747	27.4
29	60,268	230,557	68,348	29.6
30	58,544	190,501	64,473	33.8
令和 元	51,028	156,083	56,145	36.0

(収税課)

保険給付費等の推移

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
平均世帯数（世帯）		16,059	15,771	15,646	15,646	15,526	
平均被保険者数（人）		29,612	28,730	28,006	27,484	26,742	
保 険 給 付 費	療養給付費	件数（件）	495,216	491,593	487,025	484,660	480,266
		金額(千円)	7,790,884	7,445,223	7,276,369	7,400,513	7,381,954
	療 養 費	件数（件）	18,853	18,403	17,661	16,590	16,229
		金額(千円)	107,976	107,279	97,260	90,650	84,133
	高額療養費	件数（件）	17,244	19,500	19,327	22,761	25,034
		金額(千円)	1,075,744	1,047,016	1,005,473	1,020,680	1,020,149
	高額介護 合算療養費	件数（件）	5	9	16	17	15
		金額(千円)	137	335	396	192	215
	小 計	件数（件）	531,318	529,505	524,029	524,028	521,544
		金額(千円)	8,974,741	8,599,853	8,379,498	8,512,035	8,486,451
		1人当たり 金額(円)	303,078	299,334	299,204	309,709	317,345
		1件当たり 金額(円)	16,891	16,241	15,991	16,243	16,272
	出 産 育 児 一 時 金	件数（件）	149	142	119	138	104
		金額(千円)	62,484	59,512	49,948	57,848	43,632
	葬 祭 費	件数（件）	139	148	120	130	120
		金額(千円)	5,560	5,920	4,800	4,000	3,600
審 査 支 払 手 数 料 等	金額(千円)	17,072	16,334	16,437	10,938	19,074	
合 計		9,059,857	8,681,619	8,450,683	8,584,821	8,552,757	

※平均世帯数・平均被保険者数は、3～2月（各月末）の平均値。

※件数は、国民健康保険事業状況報告書（事業年報）より。

特定健康診査受診者等の推移

(単位:人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定健康診査受診者数	7,624	7,285	7,060	6,871	6,586
集団健診	5,116	5,044	4,875	4,707	4,433
個別健診	2,508	2,241	2,185	2,164	2,153
特定保健指導受診者数	1,545	1,133	1,061	982	854
動機付け支援	1,100	889	830	783	677
積極的支援	445	244	231	199	177

\* 特定健康診査・特定保健指導実績報告より

特定健康診査受診率の推移

(単位:%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
糸島市	38.8	39.0	38.9	39.2	—
福岡県	31.5	32.3	33.5	34.8	—
国	36.3	36.6	37.2	37.9	—

\* 特定健康診査・特定保健指導法定報告より

特定保健指導実施率の推移

(単位:%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
糸島市	70.2	74.5	79.4	74.1	—
福岡県	43.0	41.7	43.2	45.5	—
国	25.1	26.3	26.9	28.9	—

\* 特定健康診査・特定保健指導法定報告より

(健康づくり課)

### 3 介護保険事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	9,000,805	8,930,742
歳 出	総 額	8,469,423	8,546,326
歳 入	歳 出 差 引 額	531,382	384,416
翌年度へ繰越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		531,382	384,416

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対前年度比較		決 算 額	対前年度比較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	7,797,032	494,465	6.8	7,573,973	374,920	5.2	223,059
28	8,097,628	300,596	3.9	7,865,578	291,605	3.9	232,050
29	8,477,119	379,491	4.7	8,051,603	186,025	2.4	425,516
30	8,930,742	453,623	5.4	8,546,326	494,723	6.1	384,416
令和 元	9,000,805	70,063	0.8	8,469,423	△ 76,903	△ 0.9	531,382

介護保険事業特別会計 科目別決算の状況

歳入

(単位:千円、%)

科目		平成30年度 決算額	令和元年度				
			決算額	構成比	対前年度 増減額	対前年度 増減率	
保険料	現年特別徴収保険料	1,868,208	1,878,335	20.9	10,127	0.5	
	現年普通徴収保険料	174,355	167,194	1.8	△ 7,161	△ 4.1	
	滞納繰越分保険料	9,595	9,472	0.1	△ 123	△ 1.3	
	計	2,052,158	2,055,001	22.8	2,843	0.1	
手数料	使用料及び手数料	303	681	0.0	378	124.8	
国庫支出金	介護給付費負担金(現年度分)	1,358,679	1,405,026	15.6	46,347	3.4	
	調整交付金(現年度分)	247,473	245,144	2.7	△ 2,329	△ 0.9	
	地域支援事業交付金(介護予防)	0	0	0.0	0	-	
	地域支援事業交付金(包括的支援)	74,037	73,929	0.8	△ 108	△ 0.1	
	地域支援事業交付金(包括的支援・過年度分)	0	0	0.0	0	-	
	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	68,596	70,827	0.8	2,231	3.3	
	保険者機能強化推進交付金	15,024	13,893	0.2	△ 1,131	△ 7.5	
	その他補助金	2,619	1,231	0.0	△ 1,388	△ 53.0	
	計	1,766,428	1,810,050	20.1	43,622	2.5	
支払基金	介護給付費現年度分	2,072,210	2,125,918	23.6	53,708	2.6	
	介護給付費過年度分	0	0	0.0	0	-	
	地域支援事業支援交付金	79,317	77,685	0.9	△ 1,632	△ 2.1	
	計	2,151,527	2,203,603	24.5	52,076	2.4	
県支出金	県負担金	介護給付費負担金(現年度分)	1,123,179	1,158,982	12.9	35,803	3.2
	県補助金	地域支援事業補助金(介護予防)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業補助金(介護予防・過年度分)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業補助金(包括的支援・現年分)	37,018	36,964	0.4	△ 54	△ 0.1
		地域支援事業補助金(包括的支援・過年度分)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	36,722	38,322	0.4	1,600	4.4
	計	1,196,919	1,234,268	13.7	37,349	3.1	
収入産	財産収入(利子及び配当金)	39	43	0.0	4	10.3	
繰入金	一般会計繰入金	介護給付費繰入金(現年度分)	931,874	972,706	10.8	40,832	4.4
		地域支援事業繰入金(介護予防)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業繰入金(包括的支援)	37,495	35,995	0.4	△ 1,500	△ 4.0
		保険料軽減分繰入金	15,746	64,404	0.7	48,658	309.0
		地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	38,379	31,942	0.4	△ 6,437	△ 16.8
		その他一般会計繰入金(職員給与費等)	122,263	123,984	1.4	1,721	1.4
		その他一般会計繰入金(認定事務費等)	65,431	70,221	0.8	4,790	7.3
		小計	1,211,188	1,299,252	14.5	88,064	7.3
	介護給付費準備基金繰入金	126,513	12,281	0.1	△ 114,232	△ 90.3	
計	1,337,701	1,311,533	14.6	△ 26,168	△ 2.0		
繰越金		425,516	384,416	4.3	△ 41,100	△ 9.7	
諸収入	後期高齢者医療制度事業費補助金	0	1,065	0.0	1,065	皆増	
	その他の収入	151	145	0.0	△ 6	△ 4.0	
	計	151	1,210	0.0	1,059	701.3	
歳入合計		8,930,742	9,000,805	100.0	70,063	0.8	



科 目		平成30年度 決算額	令和元年度			
			決算額	構成比	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総務費	1-1 一般管理費	121,613	116,882	1.4	△ 4,731	△ 3.9
	1-2 国保連合会負担金	0	0	0.0	0	-
	2-1 賦課徴収費	3,613	3,403	0.0	△ 210	△ 5.8
	2-2 滞納処分費	675	546	0.0	△ 129	△ 19.0
	3-1 介護認定審査会費	11,215	11,796	0.2	581	5.2
	3-2 認定調査費	52,208	53,870	0.6	1,662	3.2
	計	189,324	186,497	2.2	△ 2,827	△ 1.5
保険給付費	1. 介護サービス等諸費	6,539,577	6,577,857	77.7	38,280	0.6
	2. 介護予防サービス等諸費	345,099	388,281	4.6	43,182	12.5
	3. その他諸費	4,187	4,377	0.0	190	4.5
	4. 高額介護サービス費	187,693	193,776	2.3	6,083	3.2
	5. 高額医療合算サービス等費	19,774	24,504	0.3	4,730	23.9
	6. 特定入所者介護サービス等費	266,541	251,990	3.0	△ 14,551	△ 5.5
計	7,362,871	7,440,785	87.9	77,914	1.1	
財政安定化基金拠出金		0	0	0.0	0	-
地域支援事業	1. 介護予防事業費	245,273	243,499	2.9	△ 1,774	△ 0.7
	2. 包括的支援、任意事業費	28,892	29,880	0.3	988	3.4
	3. 介護予防・生活支援サービス事業費	187,974	186,030	2.2	△ 1,944	△ 1.0
	4. その他諸費	661	649	0.0	△ 12	△ 1.8
計	462,800	460,058	5.4	△ 2,742	△ 0.6	
介護給付費準備基金積立金		212,798	192,251	2.3	△ 20,547	△ 9.7
公債費		0	0	0.0	0	-
諸支出金	1. 保険料還付金	1,307	1,585	0.0	278	21.3
	2. 償還金	317,226	186,944	2.2	△ 130,282	△ 41.0
	3. 還付加算金	0	1	0.0	1	皆増
計	318,533	188,530	2.2	△ 130,003	△ 40.8	
保健福祉事業費		0	1,302	0.0	1,302	皆増
歳出合計		8,546,326	8,469,423	100.0	△ 76,903	△ 0.9
形式収支(歳入-歳出)		384,416	531,382	-	146,966	-
単年度収支(形式収支-前年度繰越金)		△ 41,100	146,966	-	-	-
実質単年度収支※		45,185	326,936	-	-	-

※実質単年度収支=形式収支(翌年度へ繰り越すべき財源)-前年度繰越金+基金への積立金-基金繰入金(基金取り崩し額)

所得段階別保険料額

年度	第1段階	第2段階	第3段階 特例	第3段階	第4段階 特例	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階
平成27年度 ～29年度	28,720 (2,393)	43,410 (3,618)	-	47,880 (3,990)	-	57,450 (4,788)	63,840 (5,320)	74,050 (6,171)	84,900 (7,075)	105,330 (8,778)	124,480 (10,373)	127,680 (10,640)	143,640 (11,970)	146,830 (12,236)
平成30年度	31,370 (2,614)	47,400 (3,950)	-	52,290 (4,357)	-	62,740 (5,228)	69,720 (5,810)	80,870 (6,739)	92,720 (7,726)	115,030 (9,585)	135,950 (11,329)	139,440 (11,620)	156,870 (13,072)	160,350 (13,362)
令和元年度	26,140 (2,178)	38,690 (3,224)	-	50,540 (4,211)	-	62,740 (5,228)	69,720 (5,810)	80,870 (6,739)	92,720 (7,726)	115,030 (9,585)	135,950 (11,329)	139,440 (11,620)	156,870 (13,072)	160,350 (13,362)

※下段( )書きは、月額保険料

所得段階別第1号被保険者数 (令和2年3月末)

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階
第1号被保険者数	4,903人	2,425人	2,167人	3,816人	4,501人	5,220人	3,324人
割合	16.5%	8.2%	7.3%	12.8%	15.1%	17.6%	11.2%

第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	合計
1,719人	736人	413人	172人	315人	29,711人
5.8%	2.5%	1.4%	0.6%	1.1%	100%

介護保険料の年度別推移

(単位:千円)

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比
現年度分	1,672,637	99.5%	1,742,219	99.6%	1,803,778	99.7%	2,041,761	99.5%	2,044,524	99.5%
特別徴収	1,509,308	89.8%	1,579,474	90.3%	1,639,523	90.7%	1,867,406	91.0%	1,877,330	91.4%
普通徴収	163,329	9.7%	162,745	9.3%	164,255	9.1%	174,355	8.5%	167,194	8.1%
滞納繰越分	7,762	0.5%	7,400	0.4%	4,678	0.3%	9,595	0.5%	9,472	0.5%
合計	(1,031) 1,680,399	100%	(876) 1,749,619	100%	(945) 1,808,456	100%	(802) 2,051,356	100%	(1,005) 2,053,996	100%

※収入額は、還付未済額[合計欄上段( )書き]を除いているため、決算書とは一致しない。

(単位:千円)

年度	現年度分 特別徴収			現年度分 普通徴収		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
平成27年度	1,509,308	1,509,308	100%	175,070	163,329	93.3%
平成28年度	1,579,474	1,579,474	100%	172,831	162,745	94.2%
平成29年度	1,639,522	1,639,522	100%	177,584	164,255	92.5%
平成30年度	1,867,406	1,867,406	100%	186,161	174,355	93.7%
令和元年度	1,877,330	1,877,330	100%	176,426	167,194	94.8%

年度	現年度分 合計			滞納繰越分		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
平成27年度	1,684,378	1,672,637	99.3%	21,506	7,762	36.1%
平成28年度	1,752,305	1,742,219	99.4%	21,235	7,400	34.8%
平成29年度	1,817,106	1,803,778	99.3%	19,344	4,678	24.2%
平成30年度	2,053,567	2,041,761	99.4%	22,836	9,595	42.0%
令和元年度	2,053,756	2,044,524	99.6%	21,134	9,472	44.8%

介護認定審査の状況

認定審査会回数

(単位:回)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回数	176	170	168	170	167

申請・認定・審査件数

(単位:人)

区分	年度	申請受付件数					認定調査件数					審査件数				
		27	28	29	30	元	27	28	29	30	元	27	28	29	30	元
新	規	1,367	1,300	1,407	1,393	1,462	1,329	1,248	1,305	1,323	1,395	1,313	1,236	1,300	1,328	1,372
更	新	2,903	2,942	2,642	2,878	2,733	2,842	2,868	2,595	2,749	2,777	2,853	2,794	2,620	2,794	2,759
区	分	245	268	292	250	262	231	258	276	229	267	228	257	273	228	262
転	入	30	14	54	64	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		4,545	4,524	4,395	4,585	4,489	4,402	4,374	4,176	4,301	4,439	4,394	4,287	4,193	4,350	4,393

第1号被保険者数・要介護認定者数の推移

(単位:人、%)

区分	平成27年3月末	平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末	令和2年3月末	31年と2年の比較		
							増減	増減率	
第1号被保険者	25,928	26,809	27,604	28,460	29,199	29,711	512	1.8%	
要介護認定者数	要支援1	531	562	546	554	637	655	18	2.8%
	要支援2	785	735	716	785	838	859	21	2.5%
	要介護1	693	731	745	769	805	791	△14	△1.7%
	要介護2	623	630	621	634	604	587	△17	△2.8%
	要介護3	530	572	598	541	551	585	34	6.2%
	要介護4	531	571	570	607	591	574	△17	△2.9%
	要介護5	336	332	332	352	353	384	31	8.8%
	合計	4,029	4,133	4,128	4,242	4,379	4,435	56	1.3%
	第1号被保険者	3,927	4,039	4,042	4,165	4,298	4,350	52	1.2%
第2号被保険者	102	94	86	77	81	85	4	4.9%	
認定率	15.1%	15.1%	14.6%	14.6%	14.7%	14.6%	-	-	

(出典 平成27年から平成30年は福岡県介護保険年報。平成31年及び令和2年は介護保険事業状況報告(月報3月分))

要介護・要支援認定者数の内訳

(単位:人)

区分	平成27年3月末				平成28年3月末				平成29年3月末			
	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計
要支援1	82	434	15	531	72	481	9	562	71	463	12	546
要支援2	95	662	28	785	108	610	17	735	93	607	16	716
要介護1	59	626	8	693	67	654	10	731	63	676	6	745
要介護2	65	541	17	623	70	541	19	630	73	534	14	621
要介護3	62	452	16	530	77	480	15	572	66	521	11	598
要介護4	47	472	12	531	55	501	15	571	60	497	13	570
要介護5	32	298	6	336	30	293	9	332	25	293	14	332
合計	442	3,485	102	4,029	479	3,560	94	4,133	451	3,591	86	4,128
軽度の割合(要支援1～要介護1)	53.4%	49.4%	50.0%	49.9%	51.6%	49.0%	38.3%	49.1%	50.3%	48.6%	39.5%	48.6%
平均要介護度	2.06				2.08				2.09			

区分	平成30年3月末				平成31年3月末				令和2年3月末			
	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計
要支援1	66	479	9	554	64	565	8	637	80	565	10	655
要支援2	94	676	15	785	111	708	19	838	112	727	20	859
要介護1	60	701	8	769	66	733	6	805	66	718	7	791
要介護2	78	542	14	634	74	520	10	604	61	515	11	587
要介護3	60	471	10	541	64	478	9	551	65	512	8	585
要介護4	65	530	12	607	49	530	12	591	52	506	16	574
要介護5	36	307	9	352	36	300	17	353	43	328	13	384
合計	459	3,706	77	4,242	464	3,834	81	4,379	479	3,871	85	4,435
軽度の割合(要支援1～要介護1)	47.9%	50.1%	41.6%	49.7%	51.9%	52.3%	40.7%	52.1%	53.9%	51.9%	43.5%	52.0%
平均要介護度	2.08				2.03				2.04			

(出典 平成27年から平成30年は福岡県介護保険年報。平成31年及び令和2年は介護保険事業状況報告(月報3月分))

保険給付の状況

(単位:千円、%)

費用名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
					決算額	対前年度 増減額	対前年度 増減率
介護サービス等諸費	6,090,147	6,222,707	6,380,924	6,539,577	6,577,857	38,280	0.6
居宅介護サービス給付費(A)	1,986,767	1,865,787	1,981,455	2,067,196	2,156,963	89,767	4.3
施設介護サービス給付費(C)	3,051,464	2,998,115	3,002,243	3,077,010	3,020,797	△ 56,213	△ 1.8
居宅介護福祉用具購入費(A)	7,236	8,844	7,020	6,948	6,602	△ 346	△ 5.0
居宅介護住宅改修費(A)	14,928	18,761	15,295	13,020	14,911	1,891	14.5
居宅介護サービス計画給付費(A)	223,108	229,533	232,906	245,049	248,968	3,919	1.6
地域密着型介護サービス給付費(B)	806,644	1,101,667	1,142,005	1,130,354	1,129,616	△ 738	△ 0.1
介護予防サービス等諸費	510,788	438,299	306,460	345,099	388,281	43,182	12.5
介護予防サービス給付費(A)	410,312	342,493	221,846	254,503	291,787	37,284	14.6
介護予防福祉用具購入費(A)	4,982	5,451	5,758	5,572	6,281	709	12.7
介護予防住宅改修費(A)	18,806	23,679	20,494	22,758	23,289	531	2.3
介護予防サービス計画給付費(A)	56,564	50,718	42,393	46,714	51,544	4,830	10.3
地域密着型介護予防サービス給付費(B)	20,124	15,958	15,969	15,552	15,380	△ 172	△ 1.1
その他諸費	4,145	4,193	3,913	4,187	4,377	190	4.5
審査支払手数料	4,145	4,193	3,913	4,187	4,377	190	4.5
高額介護サービス等費	163,486	173,015	175,481	187,693	193,776	6,083	3.2
高額介護サービス費	162,913	172,507	175,259	187,409	193,545	6,136	3.3
高額介護予防サービス費	573	508	222	284	231	△ 53	△ 18.7
高額医療合算介護サービス等費	13,473	18,881	19,676	19,774	24,504	4,730	23.9
高額医療合算介護サービス等費	13,326	18,750	19,523	19,555	24,291	4,736	24.2
高額医療合算介護予防サービス等費	147	131	153	219	213	△ 6	△ 2.7
特定入所者介護サービス等費	290,519	279,602	267,405	266,541	251,990	△ 14,551	△ 5.5
特定入所者介護サービス費	290,012	279,251	267,137	266,074	251,384	△ 14,690	△ 5.5
特定入所者介護予防サービス費	507	351	268	467	606	139	29.8
給付費総額	7,072,558	7,136,697	7,153,859	7,362,871	7,440,785	77,914	1.1
第1号被保険者一人あたり給付額(年額)	263,813	258,539	251,365	252,162	250,439	△ 1,723	△ 0.7

(再掲)

給付費	(A) 居宅サービス	2,722,703	2,545,266	2,527,167	2,661,760	2,800,345	138,585	5.2
	(B) 地域密着型サービス	826,768	1,117,625	1,157,974	1,145,906	1,144,996	△ 910	△ 0.1
	(C) 施設サービス	3,051,464	2,998,115	3,002,243	3,077,010	3,020,797	△ 56,213	△ 1.8
延べ利用者数	(A) 居宅サービス	29,268人	29,229人	27,931人	29,210人	30,524人	1,314人	4.5
	(B) 地域密着型サービス	4,051人	6,446人	6,637人	6,565人	6,505人	△ 60人	△ 0.9
	(C) 施設サービス	10,857人	10,806人	10,730人	10,804人	10,404人	△ 400人	△ 3.7
たり利用者給付一月人額	(A) 居宅サービス	93,027円	87,080円	90,479円	91,125円	91,742円	617円	0.7
	(B) 地域密着型サービス	204,090円	173,383円	174,473円	174,548円	176,018円	1,470円	0.8
	(C) 施設サービス	281,060円	277,449円	279,799円	284,803円	290,350円	5,547円	1.9

#### 4 後期高齢者医療特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	1,426,885	1,365,840
歳 出	総 額	1,391,081	1,330,818
歳 入	歳 出 差 引 額	35,804	35,022
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		35,804	35,022

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	1,149,873	22,544	2.0	1,121,853	20,153	1.8	28,020
28	1,200,983	51,110	4.4	1,167,317	45,464	4.1	33,666
29	1,290,222	89,239	7.4	1,255,107	87,790	7.5	35,115
30	1,365,840	75,618	5.9	1,330,818	75,711	6.0	35,022
令和 元	1,426,885	61,045	4.5	1,391,081	60,263	4.5	35,804

療養給付費等の推移

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
平均被保険者数 (人)		12,065	12,458	12,897	13,393	13,862
療養給付費等	療養給付費等 (千円)	13,382,917	13,480,950	14,096,701	14,492,551	15,106,253
	件数 (件)	410,919	427,568	446,588	470,792	487,482
	一人当たり金額 (円)	1,109,235	1,082,112	1,093,022	1,082,099	1,089,760
	一件当たり金額 (円)	32,568	31,529	31,565	30,783	30,988

※療養給付費等は、福岡県後期高齢者医療広域連合が負担した被保険者分

※平均被保険者数は、3～2月(各月末)の平均値。

保険料収納率等の推移

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	収入済額	収納率	収入済額	収納率	収入済額	収納率	収入済額	収納率	収入済額	収納率
現年度分	781,609	98.9	822,029	99.2	893,021	99.5	961,811	99.3	1,028,353	99.5
特別徴収	493,067	100.0	514,410	100.0	567,569	100.0	595,916	100.0	647,227	100.0
普通徴収	288,542	97.2	307,619	97.8	325,452	98.6	365,895	98.3	381,125	98.5
滞納繰越分	5,230	40.4	7,727	50.2	6,319	45.8	4,156	35.4	4,960	37.0
合 計	786,839	98.0	829,756	98.3	899,340	98.7	965,967	98.6	1,033,312	98.7

※収入済額は、還付未済額を除いているため、決算書とは一致しません。

(国保年金課)

## 5 渡船事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	81,965	89,295
歳 出	総 額	81,964	89,295
歳 入	歳 出 差 引 額	1	0
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		1	0

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	253,588	190,135	299.6	252,258	192,327	320.9	1,330
28	56,095	△ 197,493	△ 77.9	56,094	△ 196,164	△ 77.8	1
29	57,130	1,035	1.8	57,129	1,035	1.8	1
30	89,295	32,165	56.3	89,295	32,166	56.3	0
令和 元	81,965	△ 7,330	△ 8.2	81,964	△ 7,331	△ 8.2	1

輸送人員の状況

(単位:人)

区 分	平成27年度 輸送人員	平成28年度 輸送人員	平成29年度 輸送人員	平成30年度 輸送人員	令和元年度 輸送人員
輸 送 人 員 数	37,599	37,579	38,806	37,496	36,610

事業収入の状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額
旅 客 運 賃	15,587	15,449	16,089	15,285	15,010
貨 物 運 賃	767	763	772	782	766
そ の 他 の 収 入	126	129	161	149	147
合 計	16,480	16,341	17,022	16,216	15,923

地方債現在高の状況

(単位:千円)

借 入 先	A 平成30年度 現在高	B 令和元年度 発行額	令和元年度元利償還金			差引現在高 A+B-C
			C 元金	利子	計	
財政融資資金	144,243	0	23,981	138	24,119	120,262
計	144,243	0	23,981	138	24,119	120,262

(地域振興課)



## 6 二丈福吉財産区特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	958	799
歳 出	総 額	226	220
歳 入	歳 出 差 引 額	732	579
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		732	579

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対前年度比較		決 算 額	対前年度比較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	574	△ 190	△ 24.9	298	△ 271	△ 47.6	276
28	656	82	14.3	384	86	28.9	272
29	651	△ 5	△ 0.8	231	△ 153	△ 39.8	420
30	799	148	22.7	220	△ 11	△ 4.8	579
令和 元	958	159	19.9	226	6	2.7	732

## 7 二丈一貴山財産区特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度	平成30年度
歳 入	総 額	5,407	9,296
歳 出	総 額	4,185	8,144
歳 入	歳 出 差 引 額	1,222	1,152
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		1,222	1,152

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対前年度比較		決 算 額	対前年度比較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
平成 27	6,037	1,139	23.3	5,936	1,073	22.1	101
28	7,554	1,517	25.1	7,007	1,071	18.0	547
29	4,464	△ 3,090	△ 40.9	3,437	△ 3,570	△ 50.9	1,027
30	9,296	4,832	108.2	8,144	4,707	137.0	1,152
令和 元	5,407	△ 3,889	△ 41.8	4,185	△ 3,959	△ 48.6	1,222

基金の状況(特別会計)

(単位:千円)

名 称	平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
		積立	取崩	
住宅新築資金等貸付事業基金(住宅特会)	183,937	14,821		198,758
国民健康保険事業財政調整基金(国保特会)	628,501	347,998		976,499
介護給付費準備基金(介護特会)	228,847	192,251	12,281	408,817
二丈福吉財産区財政調整基金 (二丈福吉財産区特会)	5,375	1		5,376
二丈一貴山財産区財政調整基金 (二丈一貴山財産区特会)	39,675	9	4,000	35,684
総 合 計	1,086,335	555,080	16,281	1,625,134



# 参 考 资 料



普通会計決算収支の推移

(単位:千円、%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入	35,831,661	39,197,035	36,363,570	37,419,083	36,230,717
歳出	34,229,260	37,400,839	34,863,833	36,415,415	35,298,559
形式収支	1,602,401	1,796,196	1,499,737	1,003,668	932,158
翌年度繰越財源	78,823	486,919	75,174	190,095	141,886
実質収支	1,523,578	1,309,277	1,424,563	813,573	790,272
単年度収支	444,776	△ 214,301	115,286	△ 610,990	△ 23,301
積立金	763,097	510,479	777,284	1,260,695	418,340
繰上償還金	142,758	143,600	6,260		440,642
積立金取崩し額		3,576,000	483,000	700,000	600,000
実質単年度収支	1,350,631	△ 3,136,222	415,830	△ 50,295	235,681

\*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したものであり、決算書とは一致しません。

主要財政指標の推移

(単位:千円、%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
標準財政規模	20,354,125	20,183,448	20,144,006	20,078,979	20,120,590
財政力指数(3ヶ年平均)	0.53	0.54	0.56	0.56	0.57
実質収支比率	7.5	6.5	7.1	4.1	3.9
健全化判断比率	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-
実質公債費比率	9.1	6.2	5.5	5.5	6.5
将来負担比率	30.2	17.3	13.7	10.0	-
経常収支比率	84.4 (89.9)	86.0 (90.5)	87.6 (92.5)	89.3 (94.4)	89.8 (93.9)
経常一般財源比率	96.0	95.6	95.7	95.3	97.1

\*経常収支比率の( )は、繰上償還(特例分)及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた経常収支比率

普通会計歳入決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
○ 地方税	8,962,170	25.0	△ 0.9	9,306,767	23.7	3.8	9,427,604	25.9	1.3	9,572,182	25.6	1.5	9,966,991	27.5	4.1
地方譲与税	346,870	1.0	4.7	343,471	0.9	△ 1.0	341,460	0.9	△ 0.6	345,469	0.9	1.2	351,572	1.0	1.8
利子割交付金	19,034	0.1	△ 15.8	9,685	0.0	△ 49.1	17,710	0.1	82.9	15,561	0.0	△ 12.1	6,983	0.0	△ 55.1
配当割交付金	53,804	0.1	△ 25.0	31,620	0.1	△ 41.2	45,820	0.1	44.9	34,572	0.1	△ 24.5	40,085	0.1	15.9
株式等譲渡所得割交付金	50,055	0.1	25.2	20,992	0.1	△ 58.1	48,474	0.1	130.9	31,682	0.1	△ 34.6	24,493	0.1	△ 22.7
地方消費税交付金	1,682,123	4.7	78.6	1,505,588	3.8	△ 10.5	1,523,632	4.2	1.2	1,532,145	4.1	0.6	1,496,407	4.1	△ 2.3
ゴルフ場利用税交付金	88,631	0.2	2.7	83,661	0.2	△ 5.6	85,496	0.2	2.2	83,248	0.2	△ 2.6	85,640	0.2	2.9
自動車取得税交付金	78,620	0.2	50.0	91,427	0.2	16.3	125,278	0.4	37.0	131,213	0.4	4.7	66,801	0.2	△ 49.1
自動車税課税性能割交付金													20,512	0.1	増補
地方特例交付金	51,042	0.1	6.0	55,025	0.1	7.8	64,008	0.2	16.3	77,871	0.2	21.7	204,029	0.6	162.0
地方交付税	8,764,675	24.5	△ 6.2	8,403,433	21.4	△ 4.1	8,134,961	22.4	△ 3.2	7,929,085	21.2	△ 2.5	7,897,877	21.8	△ 0.4
交通安全対策特別交付金	18,987	0.1	12.2	18,876	0.1	△ 0.6	18,071	0.1	△ 4.3	16,362	0.1	△ 9.5	15,199	0.0	△ 7.1
○ 分担金及び負担金	604,448	1.7	5.5	522,485	1.3	△ 13.6	550,880	1.5	5.4	566,368	1.5	2.8	418,126	1.2	△ 26.2
○ 使用料	208,203	0.6	△ 13.3	221,757	0.6	6.5	193,685	0.5	△ 12.7	198,269	0.5	2.4	194,232	0.5	△ 2.0
○ 手数料	281,905	0.8	11.7	284,316	0.7	0.9	291,630	0.8	2.6	310,222	0.8	6.4	397,007	1.1	28.0
国庫支出金	6,383,507	17.8	6.4	6,211,641	15.9	△ 2.7	6,298,462	17.3	1.4	6,295,489	16.8	0.0	6,116,169	16.9	△ 2.8
県支出金	3,145,142	8.8	11.4	3,268,855	8.3	3.9	3,030,605	8.3	△ 7.3	3,212,576	8.6	6.0	3,891,258	10.7	21.1
○ 財産収入	185,950	0.5	163.9	41,173	0.1	△ 77.9	173,144	0.5	320.5	447,921	1.2	158.7	56,081	0.2	△ 87.5
○ 寄附金	109,629	0.3	997.7	184,078	0.5	67.9	383,190	1.1	108.2	500,788	1.3	30.7	705,501	1.9	40.9
○ 繰入金	34,449	0.1	△ 44.8	3,711,567	9.5	10674.1	656,914	1.8	△ 82.3	1,253,482	3.4	90.8	1,044,817	2.9	△ 16.6
○ 繰越金	1,391,428	3.9	0.5	1,602,401	4.1	15.2	1,796,196	4.9	12.1	1,499,737	4.0	△ 16.5	1,003,668	2.8	△ 33.1
○ 諸収入	475,973	1.3	△ 3.9	527,123	1.4	10.7	448,029	1.2	△ 15.0	675,310	1.8	50.7	438,590	1.2	△ 35.1
地方債	2,895,016	8.1	△ 1.5	2,751,094	7.0	△ 5.0	2,708,321	7.5	△ 1.6	2,689,531	7.2	△ 0.7	1,788,679	4.9	△ 33.5
うち臨時財政対策債	1,272,516	3.6	△ 14.4	1,018,794	2.6	△ 19.9	1,088,421	3.0	6.8	1,102,231	3.0	1.3	881,479	2.4	△ 20.0
合計	35,831,661	100.0	2.8	39,197,035	100.0	9.4	36,363,570	100.0	△ 7.2	37,419,083	100.0	2.9	36,230,717	100.0	△ 3.2
○ 自主財源	12,254,155	34.2	1.0	16,401,667	41.8	33.8	13,921,272	38.3	△ 15.1	15,024,279	40.2	7.9	14,225,013	39.3	△ 5.3
依存財源	23,577,506	65.8	3.8	22,795,368	58.2	△ 3.3	22,442,298	61.7	△ 1.5	22,394,804	59.8	△ 0.2	22,005,704	60.7	△ 1.7

\*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。



普通会計財源別歳入決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
一般財源										
地方税	8,962,170	25.0	9,306,767	23.7	9,427,604	25.9	9,572,182	25.6	9,966,991	27.5
地方譲与税	346,870	1.0	343,471	0.9	341,460	0.9	345,469	0.9	351,572	1.0
利子割交付金	19,034	0.1	9,685		17,710	0.1	15,561		6,983	
配当割交付金	53,804	0.1	31,620	0.1	45,820	0.1	34,572	0.1	40,085	0.1
株式等譲渡所得割交付金	50,055	0.1	20,992	0.1	48,474	0.1	31,682	0.1	24,493	0.1
地方消費税交付金	1,682,123	4.7	1,505,588	3.8	1,523,632	4.2	1,532,145	4.1	1,496,407	4.1
ゴルフ場利用税交付金	88,631	0.2	83,661	0.2	85,496	0.2	83,248	0.2	85,640	0.2
自動車取得税交付金	78,620	0.2	91,427	0.2	125,278	0.4	131,213	0.4	66,801	0.2
自動車税環境性能割交付金									20,512	0.1
地方特例交付金	51,042	0.1	55,025	0.1	64,008	0.2	77,871	0.2	204,029	0.6
地方交付税	8,764,675	24.5	8,403,433	21.4	8,134,961	22.4	7,929,085	21.2	7,897,877	21.8
その他の	3,276,098	9.2	6,666,022	17.0	3,406,866	9.4	3,635,121	9.7	2,803,885	7.7
小計	23,373,122	65.2	26,517,691	67.6	23,221,309	63.9	23,388,149	62.5	22,944,763	63.3
特定財源										
分担金・負担金	590,187	1.7	505,085	1.3	536,185	1.5	561,381	1.5	413,778	1.1
使用料・手数料	462,847	1.3	478,734	1.2	462,343	1.3	482,061	1.3	563,984	1.6
国庫支出金	5,932,363	16.0	5,902,115	15.1	6,174,255	17.0	6,176,643	16.5	5,949,459	16.4
県支出金	3,087,840	8.8	3,205,210	8.2	3,001,565	8.2	3,179,635	8.5	3,807,972	10.5
財産収入	11,449		10,601	0.0	10,744		329,220	0.9	20,248	0.1
諸収入	405,247	1.1	465,225	1.2	383,327	1.0	609,433	1.6	362,525	1.0
地方債	1,622,500	4.5	1,732,300	4.4	1,618,900	4.5	1,587,300	4.2	907,200	2.5
その他の	346,106	1.4	380,074	1.0	954,942	2.6	1,105,261	3.0	1,260,788	3.5
小計	12,458,539	34.8	12,679,344	32.4	13,142,261	36.1	14,030,934	37.5	13,285,954	36.7
合計	35,831,661	100.0	39,197,035	100.0	36,363,570	100.0	37,419,083	100.0	36,230,717	100.0

\*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

普通会計性質別歳出決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
1. 人件費	5,212,283	15.2	0.3	5,124,446	13.7	△ 1.7	5,116,254	14.7	△ 0.2	5,092,859	14.0	△ 0.5	5,055,105	14.3	△ 0.7
うち職員給	3,162,134	9.2	0.1	3,149,396	8.4	△ 0.4	3,111,790	8.9	△ 1.2	3,106,742	8.5	△ 0.2	3,159,111	8.9	1.7
2. 扶助費	9,118,573	26.7	4.2	9,352,538	25.0	2.6	9,716,772	27.9	3.9	9,730,024	26.7	0.1	10,113,507	28.6	3.9
3. 公債費	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0	2,822,600	8.1	△ 1.3	2,950,263	8.1	4.5	3,554,138	10.1	20.5
内元利償還金	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0	2,822,600	8.1	△ 1.3	2,950,263	8.1	4.5	3,554,138	10.1	20.5
訳 一時借入金利子		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0
1～3義務的経費小計	17,373,559	50.8	△ 2.3	17,338,190	46.4	△ 0.2	17,655,626	50.7	1.8	17,773,146	48.9	0.7	18,722,750	53.0	5.3
4. 物件費	4,484,809	13.1	3.4	4,524,996	12.1	0.9	4,631,677	13.3	2.4	4,767,224	13.1	2.9	5,017,524	14.2	5.3
5. 維持補修費	183,956	0.5	△ 0.1	186,752	0.5	1.5	178,343	0.5	△ 4.5	192,892	0.5	8.2	214,075	0.6	11.0
6. 補助費等	2,499,769	7.3	3.9	2,703,874	7.2	8.2	2,571,013	7.4	△ 4.9	2,534,079	7.0	△ 1.4	2,534,553	7.2	0.0
うち一部事務組合負担金	5,898		△ 5.3	6,067	0.0	2.9	6,069	0.0	0.0	6,918	0.0	14.0	6,270	0.0	△ 9.4
7. 積立金	927,067	2.7	△ 1.9	4,243,083	11.3	357.7	1,425,667	4.1	△ 66.4	1,836,016	5.0	28.8	1,204,974	3.4	△ 34.4
8. 投資及び出資金・貸付金	102,230	0.3	△ 0.7	96,432	0.3	△ 5.7	126,063	0.4	30.7	121,939	0.3	△ 3.3	146,039	0.4	19.8
9. 繰出金	4,236,019	12.4	22.1	3,993,061	10.7	△ 5.7	4,078,800	11.7	2.1	3,868,775	10.6	△ 5.1	4,008,028	11.4	3.6
10 前年度繰上充当金															
4～10小計	12,433,850	36.3	8.6	15,748,198	42.1	26.7	13,011,563	37.3	△ 17.4	13,320,925	36.6	2.4	13,125,193	37.2	△ 1.5
11 投資的経費	4,421,851	12.9	4.8	4,314,451	11.5	△ 2.4	4,196,644	12.0	△ 2.7	5,321,344	14.6	26.8	3,450,616	9.8	△ 35.2
うち人件費	92,301	0.3	47.2	88,283	0.2	△ 4.4	95,096	0.3	7.7	101,531	0.3	6.8	53,744	0.2	△ 47.1
内普通建設事業費	4,330,882	12.6	4.0	4,285,259	11.4	△ 1.1	4,180,067	12.0	△ 2.5	5,032,781	13.8	20.4	3,084,245	8.8	△ 38.7
うち単独事業費	1,682,410	4.9	30.5	2,137,251	5.7	27.0	1,543,470	4.4	△ 27.8	2,394,951	6.6	55.2	1,709,144	4.9	△ 28.6
訳 災害復旧事業費	90,969	0.3	64.0	29,192	0.1	△ 67.9	16,577	0.0	△ 43.2	288,563	0.8	1640.7	366,371	1.0	27.0
失業対策事業費															
歳出合計	34,229,260	100.0	2.3	37,400,839	100.0	9.3	34,863,833	100.0	△ 6.8	36,415,415	100.0	4.5	35,298,559	100.0	△ 3.1
うち人件費	5,304,584	15.5	0.9	5,212,729	13.9	△ 1.7	5,211,350	15.0	0.0	5,194,390	14.4	△ 0.3	5,108,849	14.5	△ 1.6

\*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

普通会計目的別歳出決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
議会費	299,329	0.9	6.4	267,852	0.7	△ 10.5	260,250	0.7	△ 2.8	246,895	0.7	△ 5.1	252,599	0.7	2.3
総務費	4,114,079	12.0	8.6	7,231,478	19.3	75.8	4,412,255	12.7	△ 39.0	4,963,014	13.6	12.5	4,675,783	13.2	△ 5.8
民生費	14,762,984	43.1	8.0	14,920,921	39.9	1.1	14,997,561	43.0	0.5	14,840,878	40.8	△ 1.0	15,261,936	43.2	2.8
衛生費	3,726,944	10.9	10.9	3,003,997	8.0	△ 19.4	2,698,948	7.7	△ 10.2	3,155,766	8.7	16.9	2,709,849	7.7	△ 14.1
労働費	34,485	0.1	△ 46.0	34,753	0.1	0.8	23,776	0.1	△ 31.6	23,682	0.1	△ 0.4	20,385	0.1	△ 13.9
農林水産業費	1,343,424	3.9	5.7	1,590,728	4.3	18.4	1,283,802	3.7	△ 19.3	1,248,519	3.4	△ 2.7	1,612,568	4.6	29.2
商工費	376,093	1.1	31.5	261,467	0.7	△ 30.5	242,122	0.7	△ 7.4	265,159	0.7	9.5	259,731	0.7	△ 2.0
土木費	2,449,139	7.2	△ 8.0	2,550,513	6.8	4.1	3,137,851	9.0	23.0	3,626,302	9.9	15.6	2,221,808	6.3	△ 38.7
消防費	1,199,190	3.5	△ 4.4	2,013,911	5.4	67.9	1,183,325	3.4	△ 41.2	1,418,875	3.9	19.9	1,166,190	3.3	△ 17.8
教育費	2,789,921	8.1	△ 4.5	2,621,376	7.0	△ 6.0	3,783,651	10.9	44.3	3,354,026	9.2	△ 11.4	3,169,259	9.0	△ 5.5
災害復旧費	90,969	0.3	64.0	29,192	0.1	△ 67.9	16,577	0.0	△ 43.2	288,563	0.8	1640.7	366,371	1.0	27.0
公債費	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0	2,822,600	8.1	△ 1.3	2,950,263	8.1	4.5	3,554,138	10.1	20.5
諸支出金				13,445	0.0	-	1,115	0.0	-	33,473	0.1	-	27,942	0.1	△ 16.5
合計	34,229,260	100.0	2.3	37,400,839	100.0	9.3	34,863,833	100.0	△ 6.8	36,415,415	100.0	4.5	35,298,559	100.0	△ 3.1

\*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

令和元年度 決算の概要 (普通会計)

(単位：千円)

団体名	糸島市	27年国調人口	96,475	面積	215.70 k㎡	職員数	R2.4.1現在	一般職員	374	うち技能労働職	7	教育公務員	2	消防職員	98	臨時職員	計	474
類型	II-1	R2.1.1住基人口	101,866	決算額		職員の状況		標準交付税		標準交付税		模	N	積立金		財調基金	5,687,421	
区分	決算額	人件費	5,055,105	歳入総額	A	歳入総額	36,230,717	標準税収入額等	12,018,165	標準税収入額等		現在高		減価基金		その他	300,733	
地方税	9,966,991	うち職員給	3,159,111	歳出総額	B	歳出総額		臨時財政対策債発行可能額	881,479	臨時財政対策債発行可能額		現在高		計		計	4,614,984	
地方譲与税	351,572	扶助費	10,113,507	元利償還金	C	元利償還金	35,298,559	計	20,120,590	計		地方債現在高		地方債現在高		計	10,603,138	
利子割交付金	6,983	公債費	3,554,138	歳入歳出差引額	A-B	歳入歳出差引額	932,158	税収入状況(現年課税分)		調査済額	9,948,337	債務負担行為額		確定			28,152,458	
配当割交付金	40,085	一時借入金利息	0	翌年度へ繰り越すべき財源	D	翌年度へ繰り越すべき財源	141,886	収入済額	9,911,177	収入済額		(翌年度以降支出予定額)		未定			0	
株式等譲渡所得割交付金	24,493	(義務的経費小計)	18,722,750	実質収支	E	実質収支		徴収率(%)	99.6	徴収率(%)		土地開発基金現在高		その他			1,428,473	
地方消費税交付金	1,496,407	物件費	5,017,524	C-D	F	C-D	790,272	財政力指数の状況		基準財政需要額	16,573,322	歳出決算構成比の状況(%)		実質的なもの			0	
地方消費税交付金	85,640	維持補修費	214,075	前年度実質収支	F	前年度実質収支	813,573	基準財政収入額	9,484,152	基準財政収入額							0	
特別地方消費税交付金	0	補助費等	2,534,553	繰入金	G	繰入金		財政力指数(3か年平均)	0.57	財政力指数(3か年平均)							53.0	
自動車取得税交付金	66,801	うち一部組合負担金	6,270	単年度収支	G	単年度収支		その他		その他							14.3	
自動車税環境性能割交付金	20,512	繰入金	4,008,028	E-F	H	E-F	△23,301	実質収支比率	E/N	実質収支比率	3.9						10.1	
地方交付税	7,897,877	繰入金	1,204,974	積立金	H	積立金	418,340	経常一般財源比率	L/N	経常一般財源比率	97.1						9.8	
内	7,220,946	繰入金	1,204,974	繰上償還金	I	繰上償還金	440,642	経常収支比率		経常収支比率	89.8 (93.9)						8.8	
訳	676,931	投資及び出資金・貸付金	146,039	積立金取崩し額	J	積立金取崩し額		M/(L+α+β)		M/(L+α+β)	22.8 (23.8)						4.9	
一般財源(計)	20,161,390	(小計)	13,125,193	内	K	内		うち人件費		うち人件費							1.0	
交通安全対策特別交付金	15,199	前年度繰上充用金	0	実質単年度収支	K	実質単年度収支	600,000	うち公債費		うち公債費	15.1 (15.8)						37.2	
分担金及び負担金	418,126	投資的経費	3,450,616	G+H+I-J	L	G+H+I-J	235,681	健全化判断比率		健全化判断比率								
使用料	194,232	うち人件費	53,744	経常一般財源等収入	L	経常一般財源等収入	19,541,132	実質赤字比率	—	実質赤字比率	—							
手数料	397,007	普通建設事業費	3,084,245	経常経費充当一般財源	M	経常経費充当一般財源	18,345,701	連結実質赤字比率	—	連結実質赤字比率	—							
国庫支出金	6,116,169	うち補助事業費	1,182,065	内		内		実質公債費比率	6.5	実質公債費比率	6.5							
国有提供交付金	0	うち単独事業費	1,709,144	歳出合計		歳出合計	35,298,559	将来負担比率	—	将来負担比率	—							
県支出金	3,891,258	災害復旧事業費	366,371	繰入金		繰入金	1,044,817											
財産収入	56,081	失業対策事業費	0	繰越金		繰越金	1,003,668											
寄附金	705,501			諸収入		諸収入	438,590											
繰入金	1,044,817			地方債		地方債	1,788,679											
繰越金	1,003,668			うち減収補てん債特別分		うち減収補てん債特別分	0											
諸収入	438,590			うち臨時財政対策債		うち臨時財政対策債	881,479											
地方債	1,788,679			歳入合計		歳入合計	36,230,717											
うち減収補てん債特別分	0																	
うち臨時財政対策債	881,479																	
歳入合計	36,230,717																	

※ 経常一般財源比率＝経常一般財源等収入／標準財政規模

※ 比率の欄は小数点第2位を四捨五入し、倍率の欄は小数点第3位を四捨五入しています。

※ 経常収支比率の( )は、減収補てん債特別分及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いたものです。

※ 記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、普通会計間の純計操作を行っているため、決算書とは一致しません。

※ 決算書に基づく繰入金等を計上しているため、地方財政状況調査の数値とは一致しない。

